

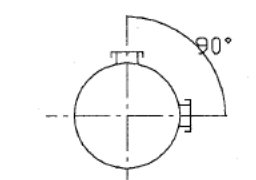
備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
	ガス浄化系

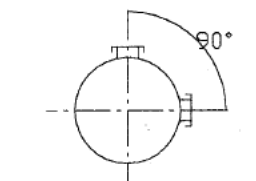
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

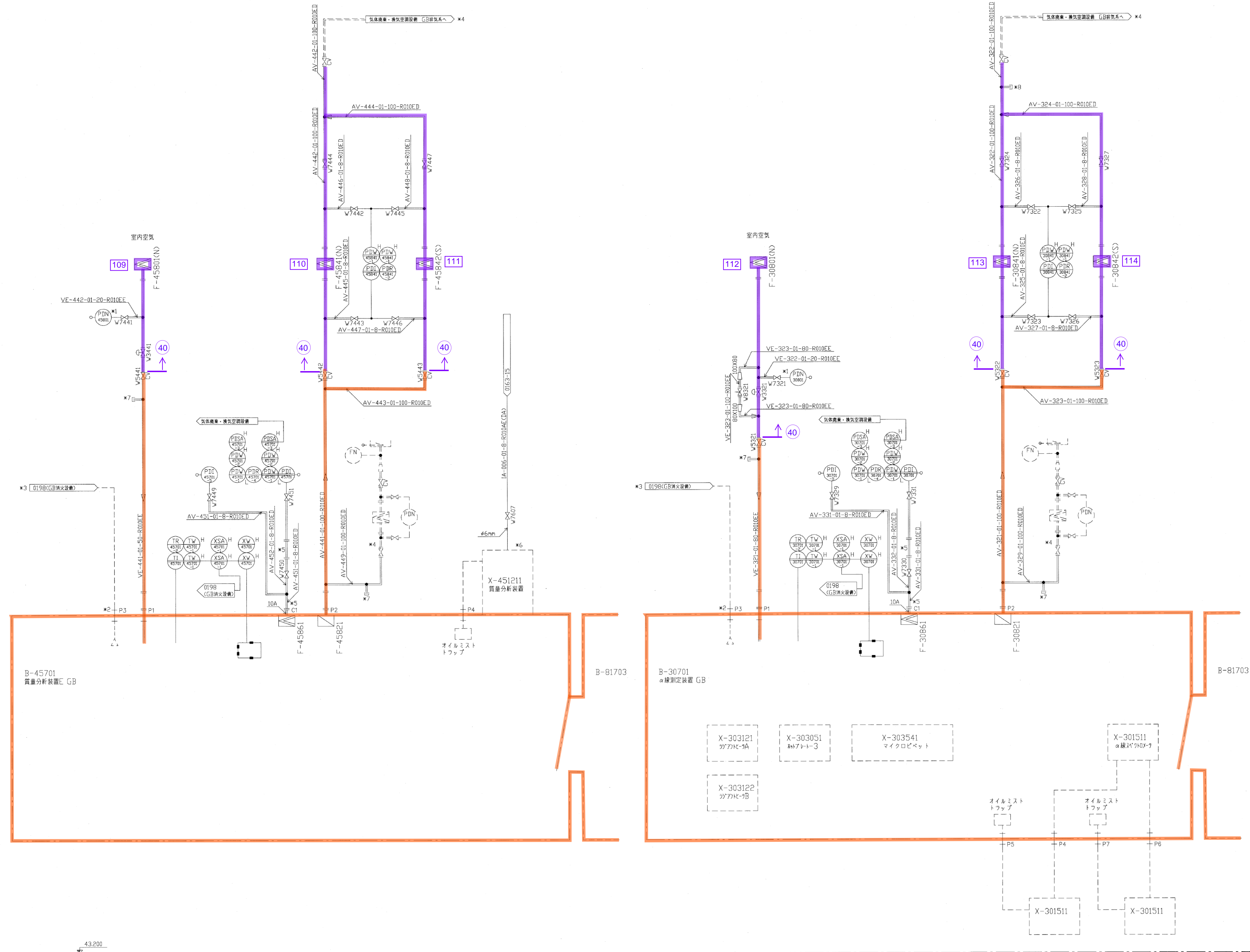
- \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フランジ(8AX10A)。
- \*6 分析機器配管線図(PM-0163-4141-001)参照。
- \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



\*8 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



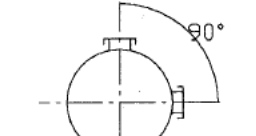
製先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA)分析設備(G) アルミニウム・フッ素分析設備 エンジニアリングフロア図 (B-43701, B-44701) 工程: 0163 (GB) (11/18)		



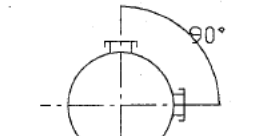
備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
⊥	貫通口

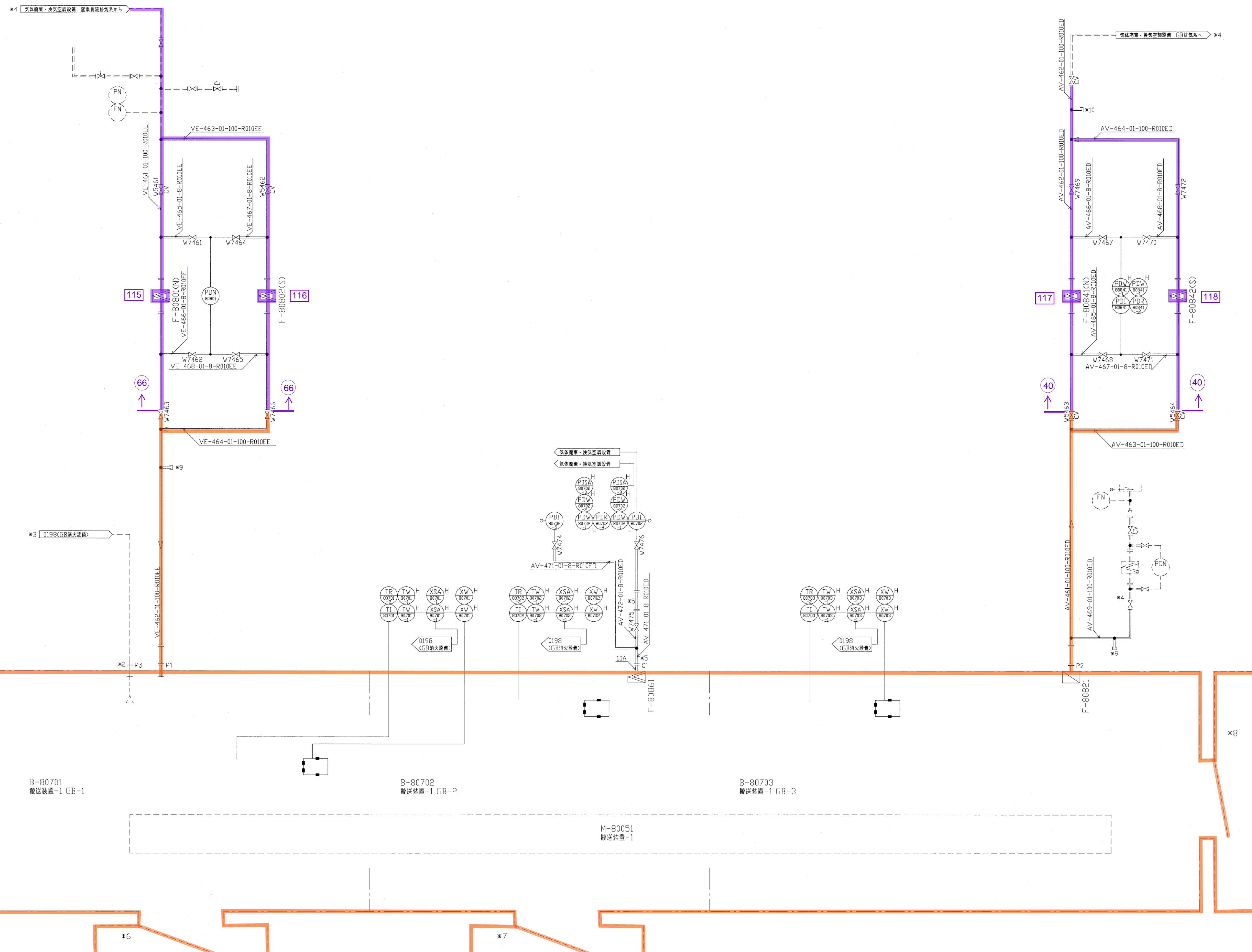
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに關しては制御室にも表示する。  
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)  
\*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
\*2 給気口近傍に設置する。  
\*3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。  
\*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。  
\*5 異径フランジ(BAX10A)。  
\*6 分析機器配管配線図(PM-0163-4141-001)参照。  
\*7 試運転時流量測定用10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



- \*8 試運転時流量測定用10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルミニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロ-図 (B-45701,B-30701) 工程:0163(GB) (12/18)		

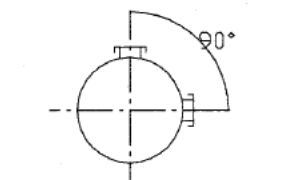


記号	名称
⊥	貫通口

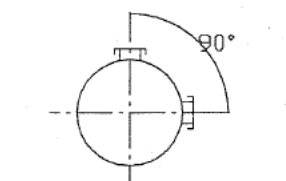
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別冊第2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、箱末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- \*4 グローボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フランジ(BAX10A)。
- \*6 B-80701と隣接するグローボックスは以下の通り。  
B-10701, B-20701, B-21701
- \*7 B-80702と隣接するグローボックスは以下の通り。  
B-22701, B-23701, B-24701
- \*8 B-80703と隣接するグローボックスは以下の通り。  
B-25701, B-31701, B-90701
- \*9 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
箱末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後指環キャップ止めとする)



\*10 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
箱末部にねじ込みキャップ処置を施す。



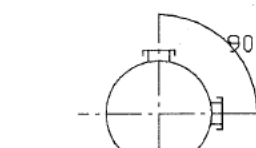
製先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) アルトニウム・ウラン分析設備 エンジニアリングフロア図 (B-80701, B-80702, B-80703) 工程: 0163 (GB) (13/18)		

備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

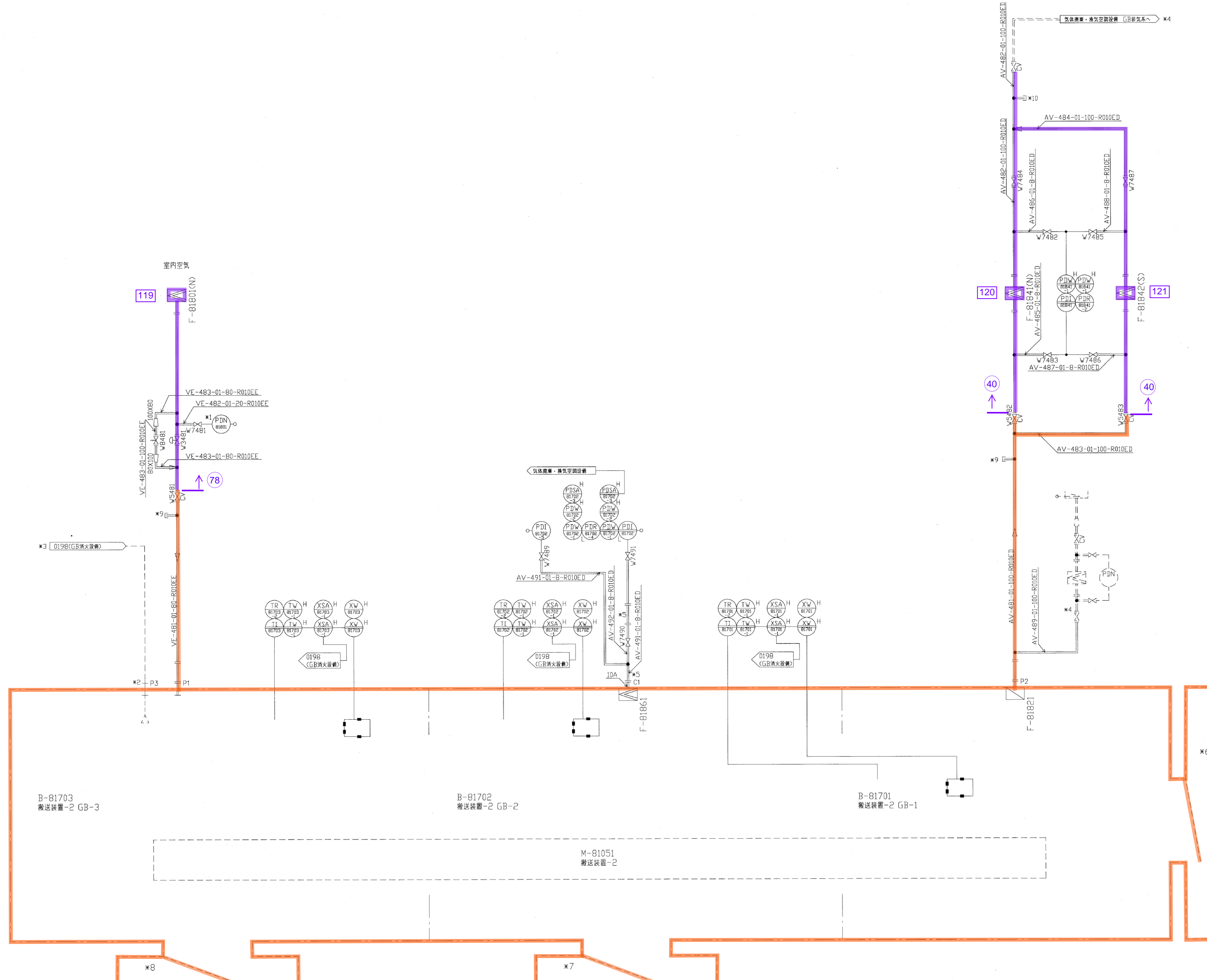
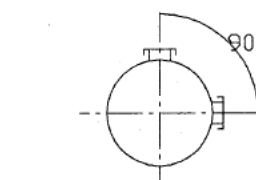
記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては、制御室にも表示する。  
3. 注記（本図中の注記は下記に示す通り）

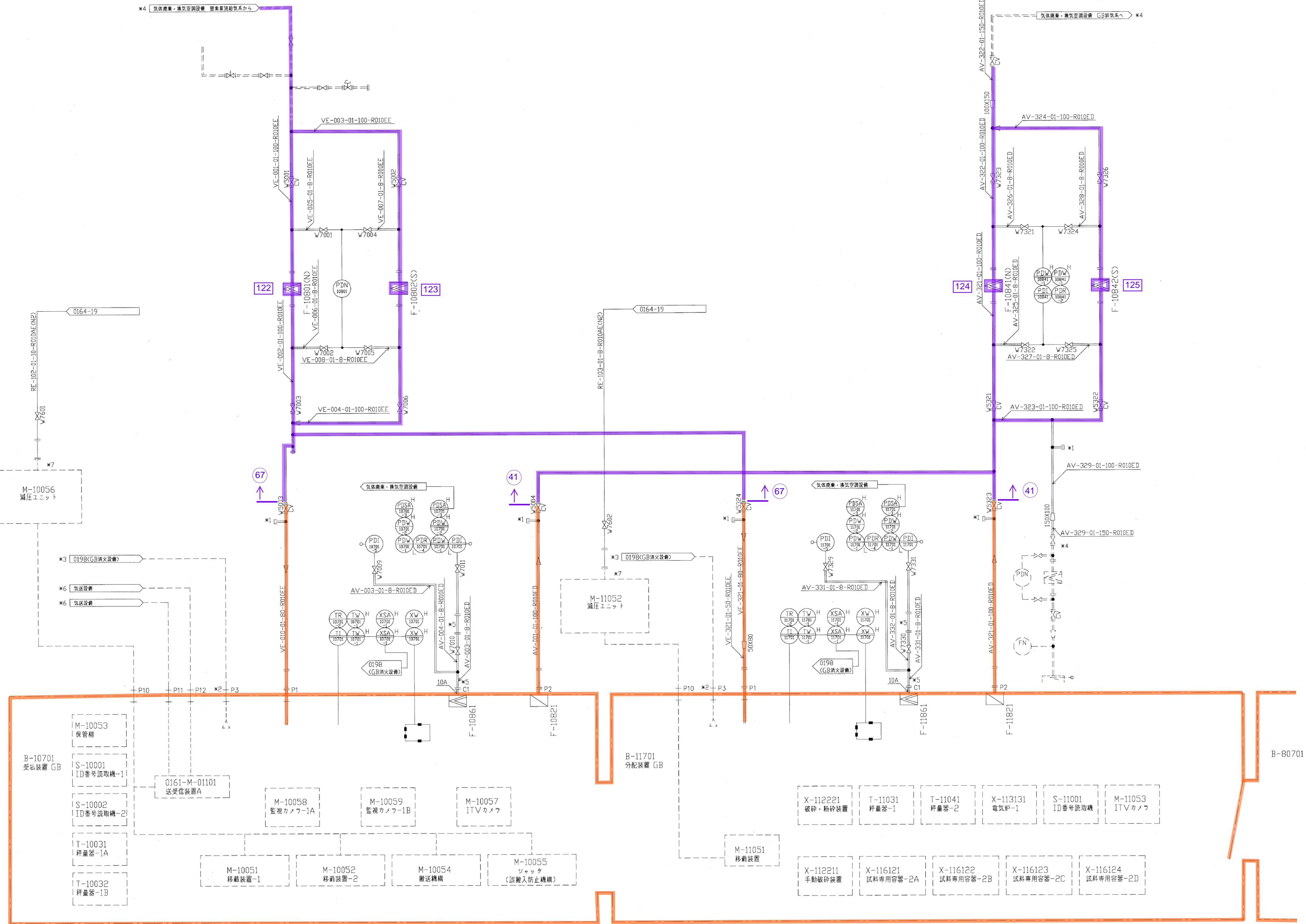
- \*1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防消火設備（GB消火設備）EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図（PM-0171-4422-002）参照。
- \*5 異径フランジ（8AX10A）。
- \*6 B-81701と隣接するグローブボックスは以下の通り。B-46701
- \*7 B-81702と隣接するグローブボックスは以下の通り。B-26701, B-41701, B-42701
- \*8 B-81703と隣接するグローブボックスは以下の通り。B-30701, B-43701, B-44701, B-45701
- \*9 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所（可能な範囲で短く）  
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
（試運転終了後密接キャップ止めとする）



\*10 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所（可能な範囲で短く）  
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。



313分析第2室



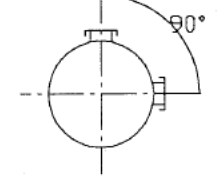
備考

1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
⊥	普通口

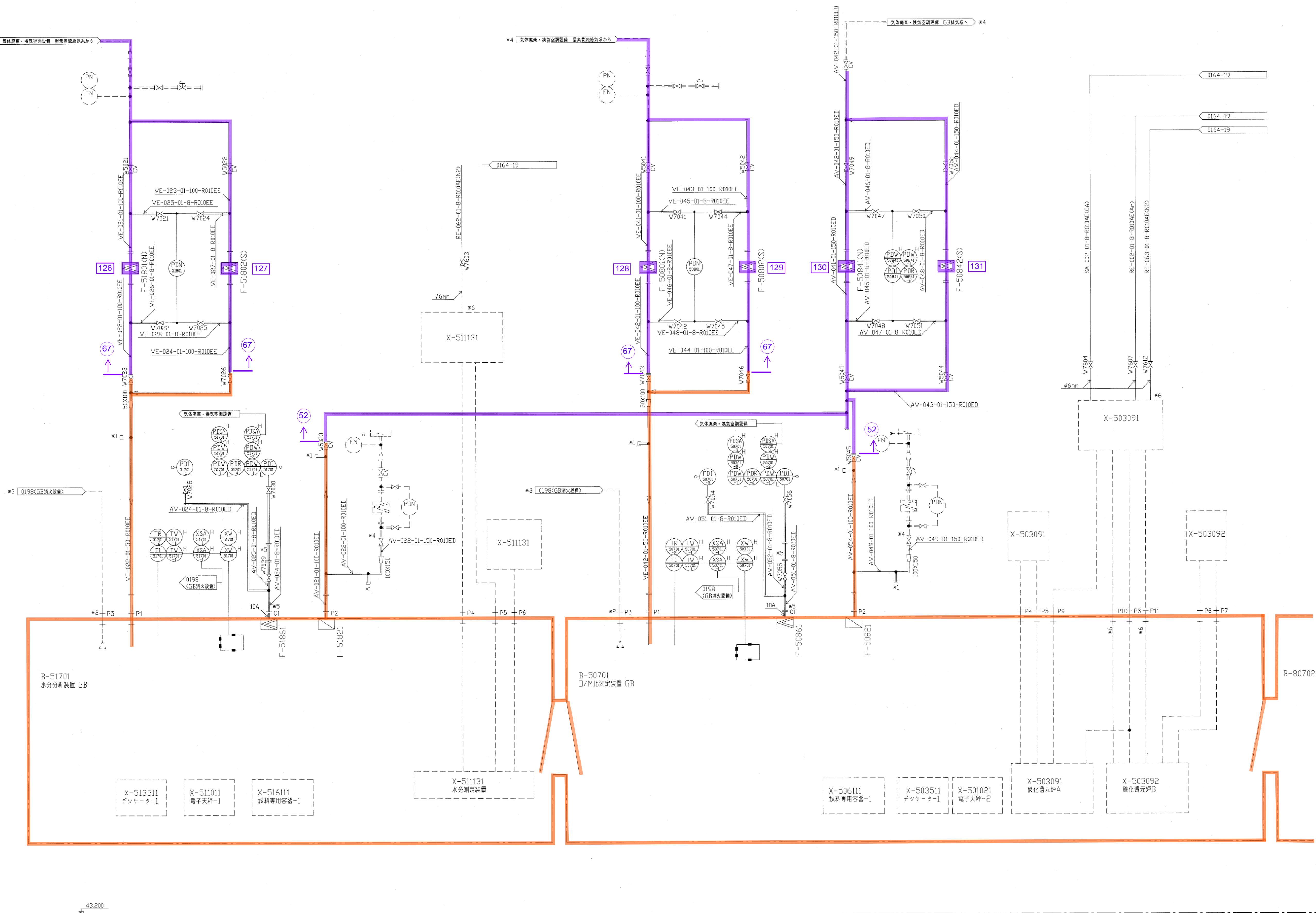
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別御第2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 補末部にねじ込みキャップ取付を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
  - \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 異径ファンジ(BAX10A)参照。
  - \*6 気送設備EFD(PF-0161-4122-001)参照。
  - \*7 受払装置・分配装置及び搬送設備取扱説明書(PM-0164-4368-001)参照。



- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径ファンジ(BAX10A)参照。
- \*6 気送設備EFD(PF-0161-4122-001)参照。
- \*7 受払装置・分配装置及び搬送設備取扱説明書(PM-0164-4368-001)参照。

発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-10701,11701) 工程:0164(GB) (1/22)		

313分析室2室



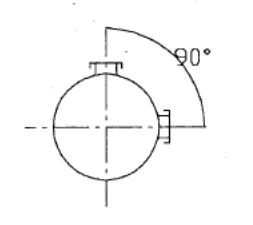
備考

1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

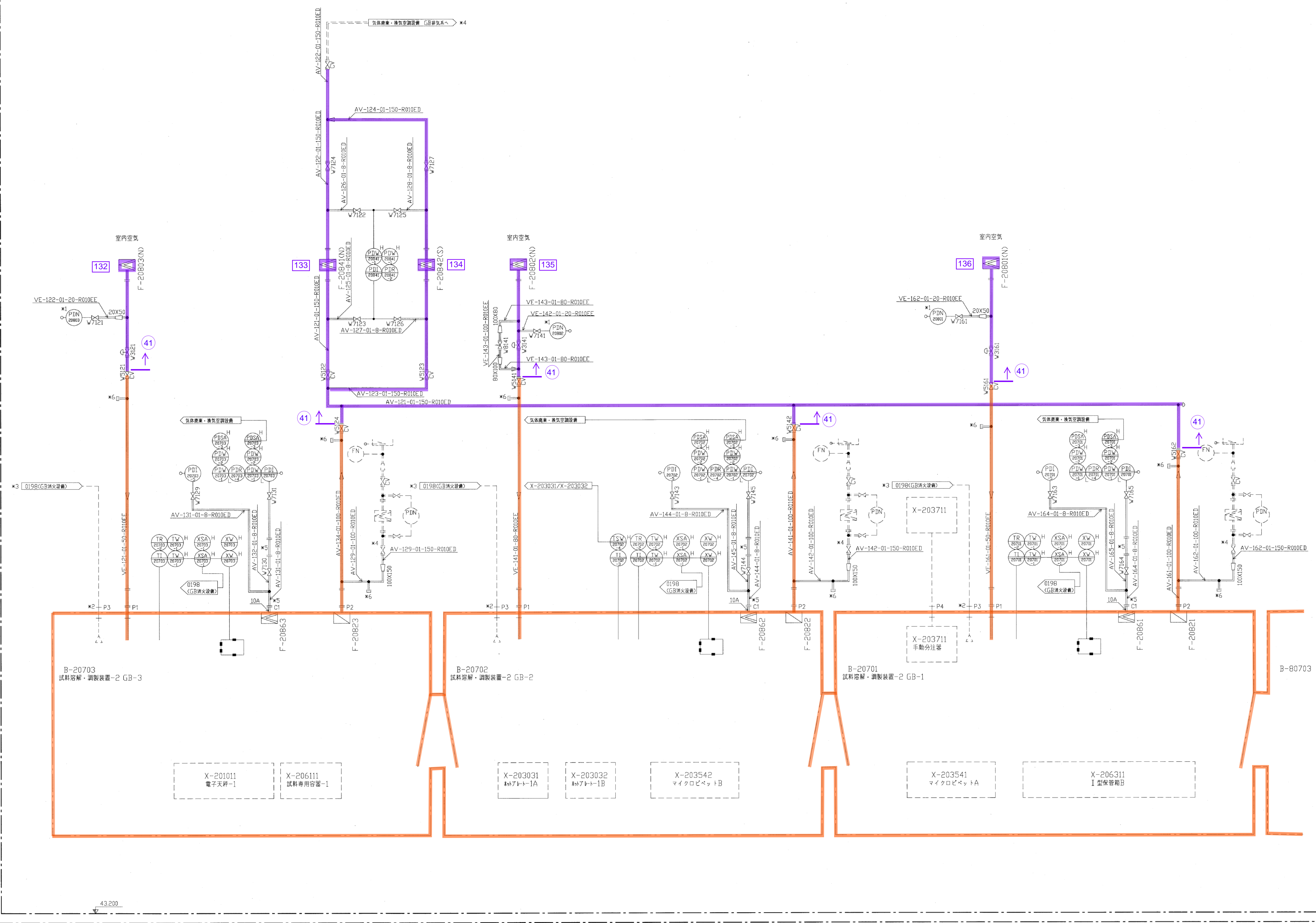
記号	名称
...	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに同じには別室2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く) 端部にねじ込みキャップ設置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
  - \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 真程ファンジ(BAX10A)。
  - \*6 分析機器配管系統図(PM-0164-4141-001)参照。



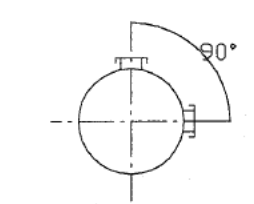
客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-50701,B-51701) 工程:0164(GB) (2/22)		

313分析第2室

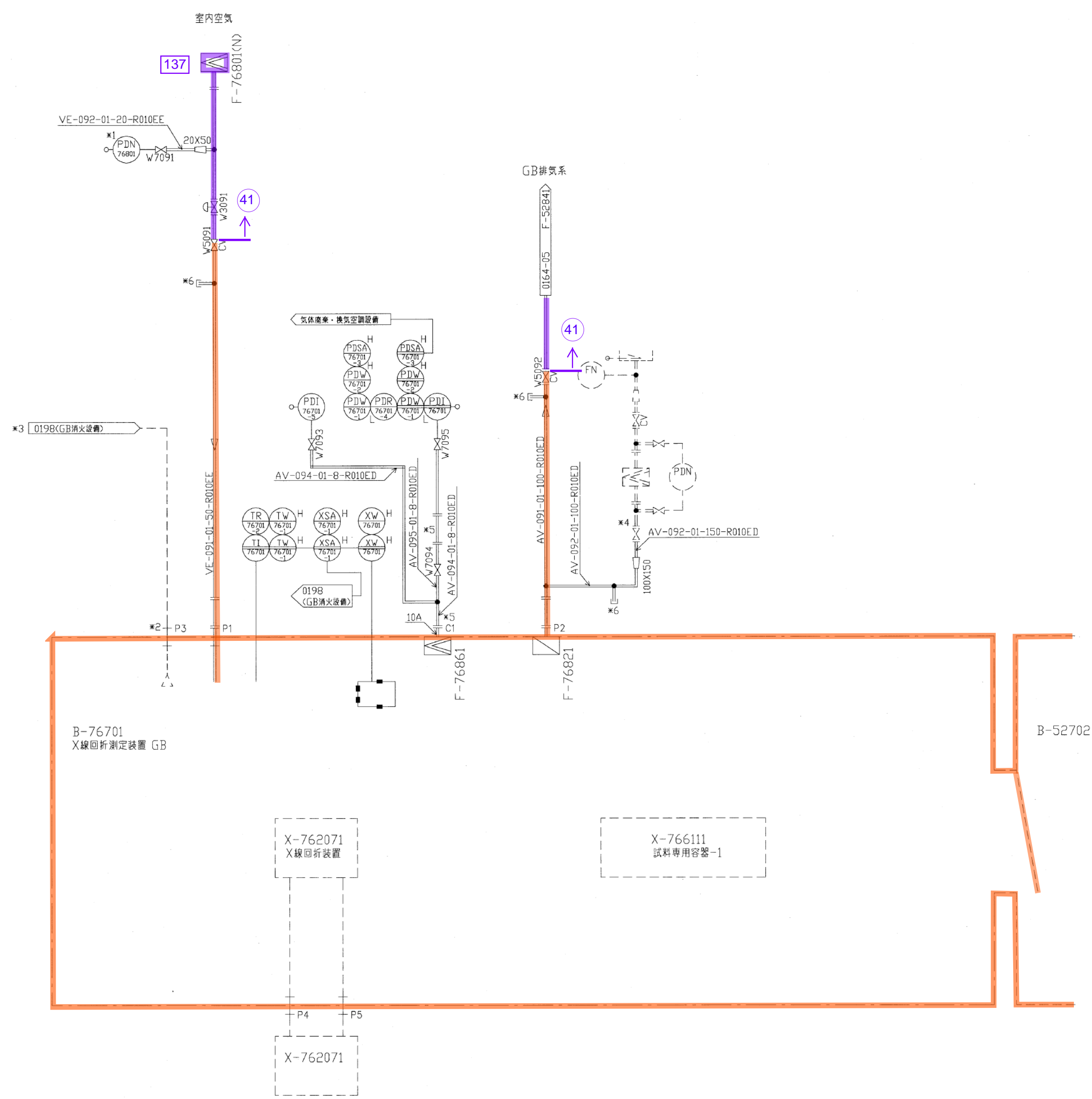


- 備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。  

記号	名称
-I-I-I-	普通口
  2. 中央監視室に表示がある計装TAGに異しては、制御室にも表示する。
  3. 注記（本図中の注記は下記に示す通り）
    - \*1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
    - \*2 給気口近傍に設置する。
    - \*3 防消火設備（GB消火設備）EFD参照。
    - \*4 グローブボックス廻り換気系統図（PM-0171-4422-002）参照。
    - \*5 異径ファンジ（BAX10A）。
    - \*6 試運転時流量測定用  
 10A管台×2ヶ所（可能な範囲で短く）  
 請末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
 （試運転終了後キャップ止めとする）



発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋（PA）分析設備（G） 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロア図 （B-20701,20702,20703） 工程：0164（GB）（3/22）		



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

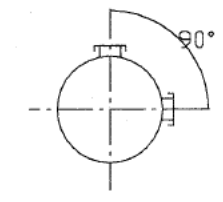
(凡例)

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては  
制御室2室にも表示する。

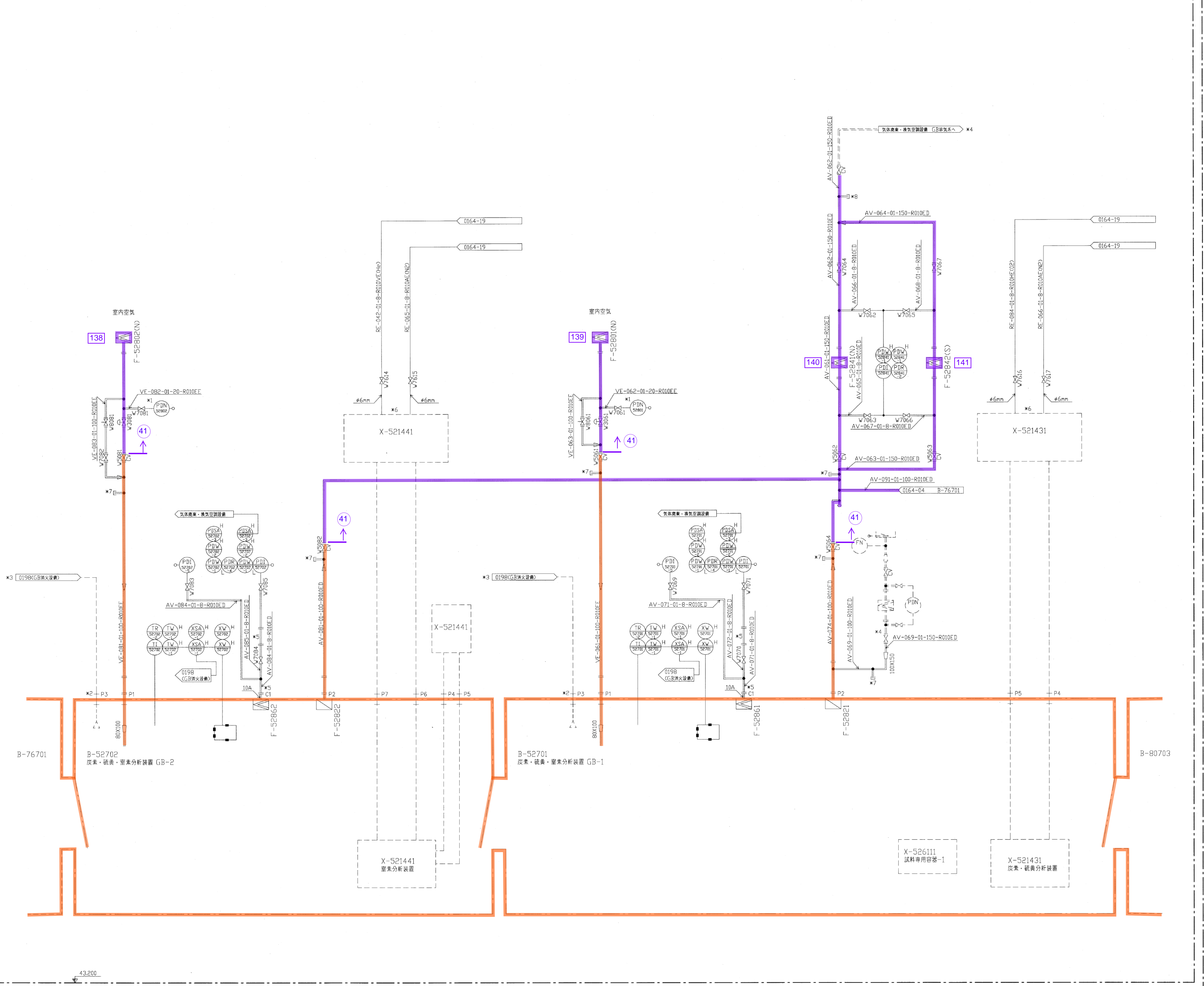
3. 注記 (本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計等取外し時、端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備 (GB換気設備) EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フランジ (BAX10A)。
- \*6 試運転時流量測定用 10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-76701) 工程: 0164 (GB) (4/22)		



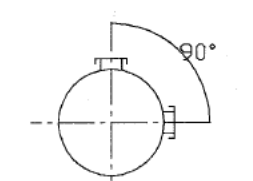


備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

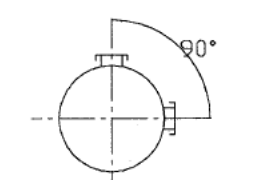
記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては  
制御室2室にも表示する。  
3. 注記（本図中の注記は下記に示す通り）

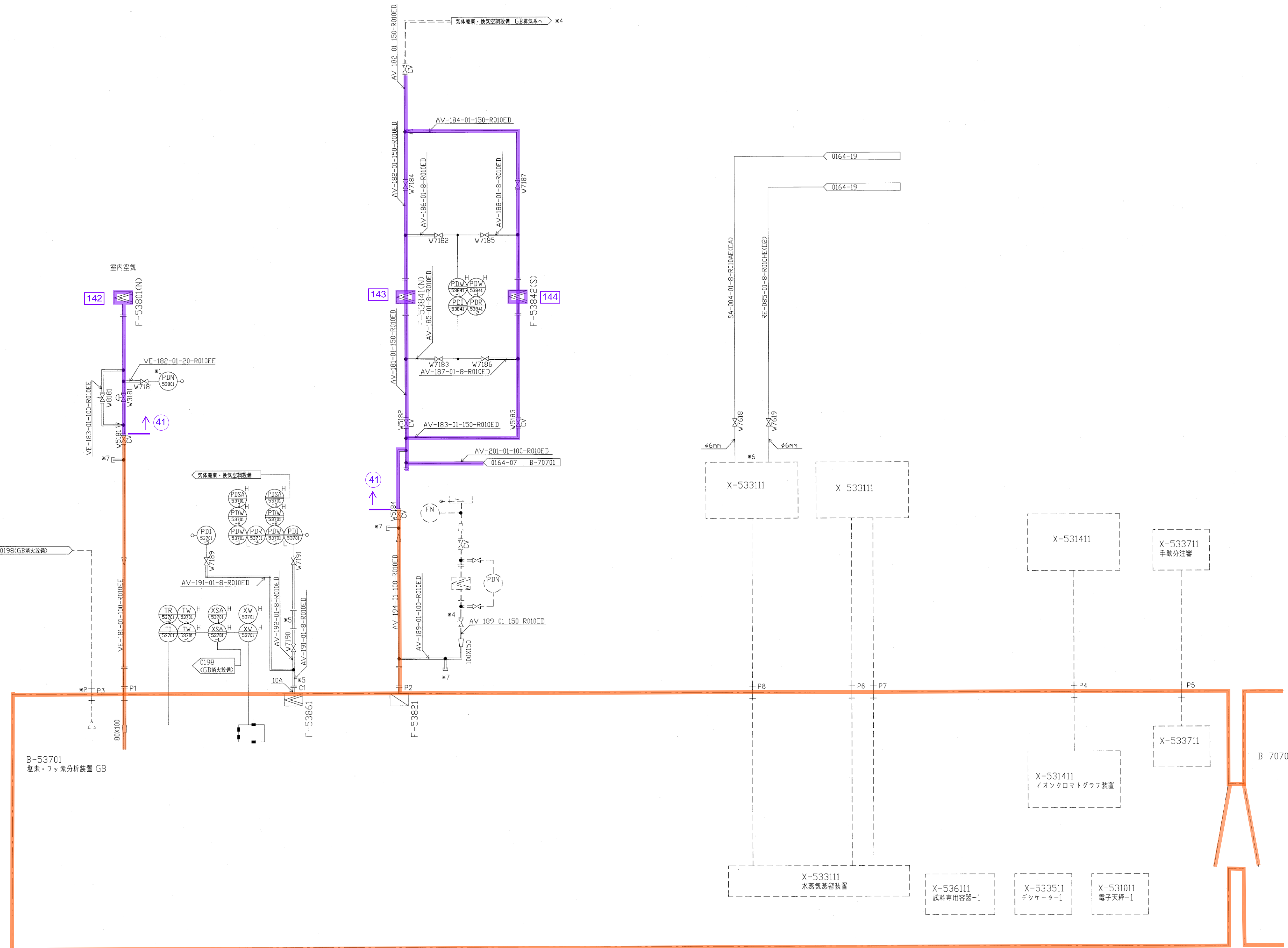
- \*1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ  
処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防消火設備（GB消火設備）EFD参照。
- \*4 クロップボックス廻り換気系統図  
（PM-0171-4422-002）参照。
- \*5 異径フランジ（BAX10A）。
- \*6 分析機器配管様式図  
（PM-0164-4141-001）参照。
- \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所（可能な範囲で短く）  
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
（試運転終了後溶接キャップ止めとする）



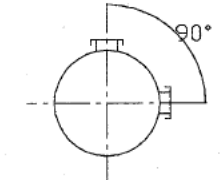
\*8 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所（可能な範囲で短く）  
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。



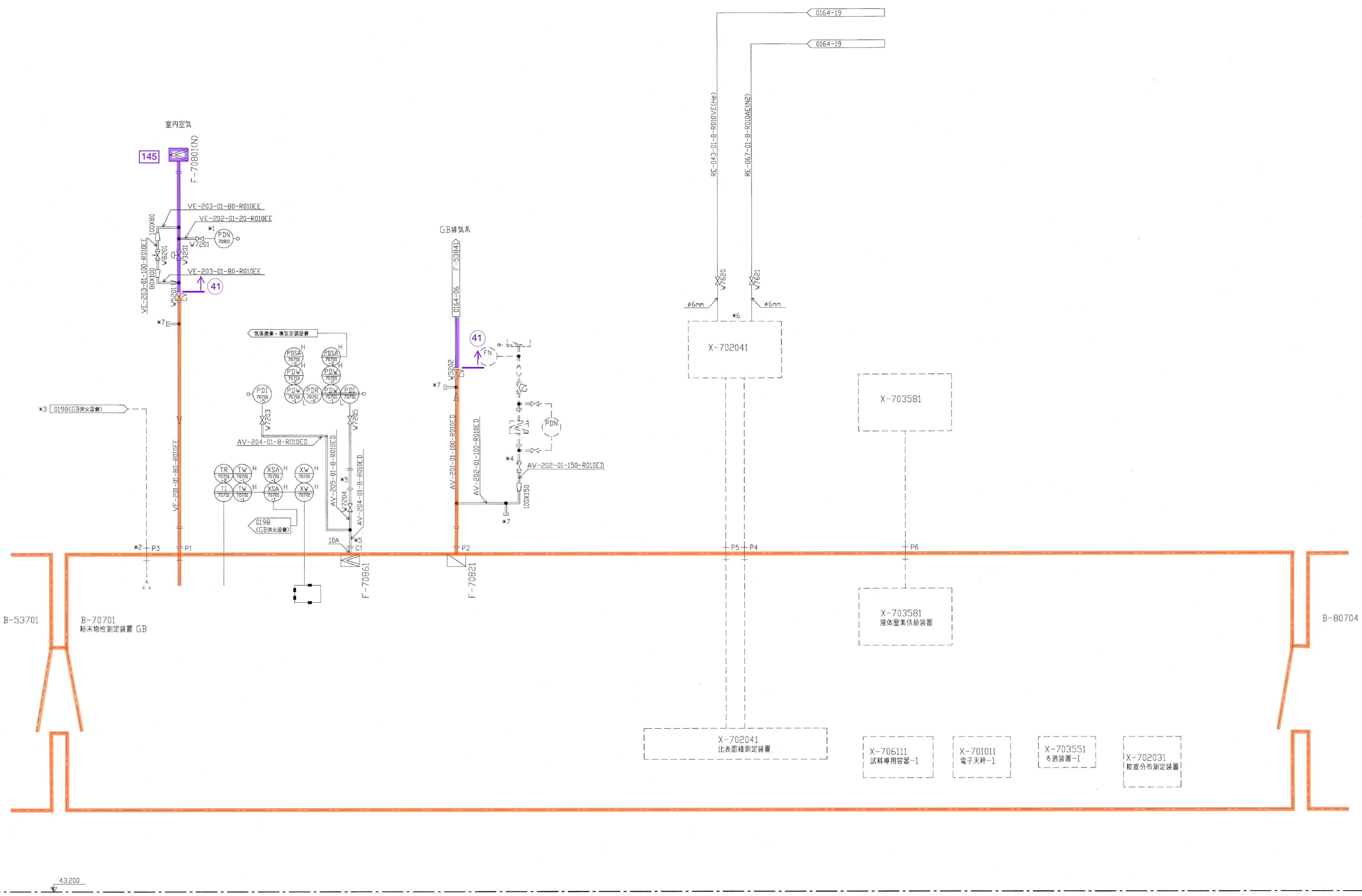
客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋（PA）分析設備（G） 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 （B-52701,52702） 工程：0164（GB）（5/22）		



- 備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。  
(凡例)
- | 記号 | 名称  |
|----|-----|
| ⋯  | 貫通口 |
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別室第2室にも表示する。
  3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
    - \*1 仮設計器取外し時、継末部におじ込みキャップ処置を施す。
    - \*2 給気口近傍に設置する。
    - \*3 消防火設備 (GB消防火設備) EFD参照。
    - \*4 グローボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
    - \*5 異径フランジ (BAX10A)。
    - \*6 分析機器配管図 (PM-0164-4141-001)参照。
    - \*7 試運転時流量測定用 10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 継末部におじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-53701) 工程: 0164 (GB) (6/22)		



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

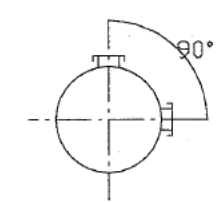
(凡例)

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては  
制御第2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取り外し時、詰末部にねじ込みキャップ  
取付を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図  
(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フランジ(BAX10A)。
- \*6 分析機器配管根拠  
(PM-0164-4141-001)参照。
- \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ取付を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



会社名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-70701) 工程: 0164 (GB) (7/22)		

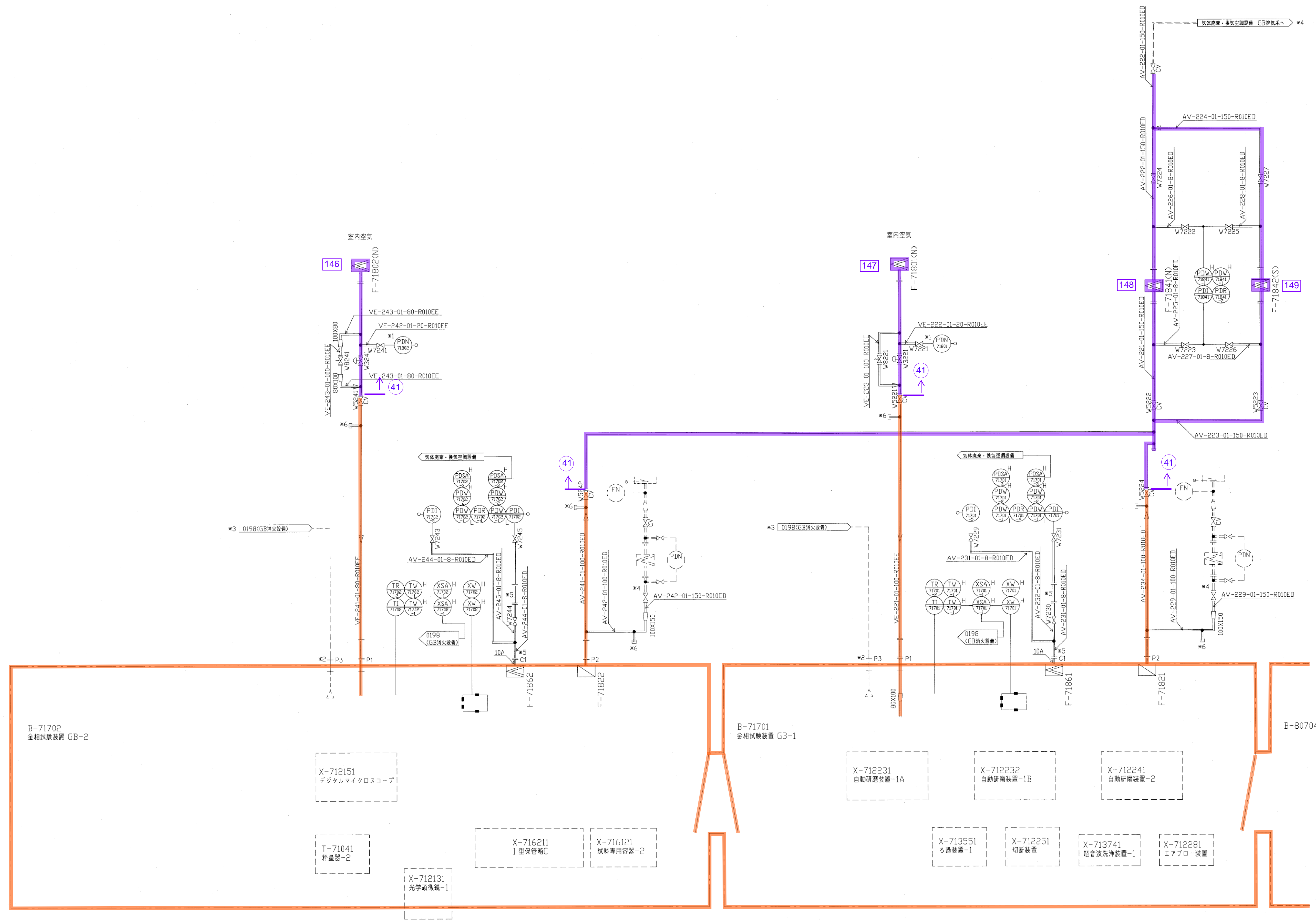
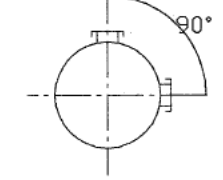
備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
⋯⋯	貫通口

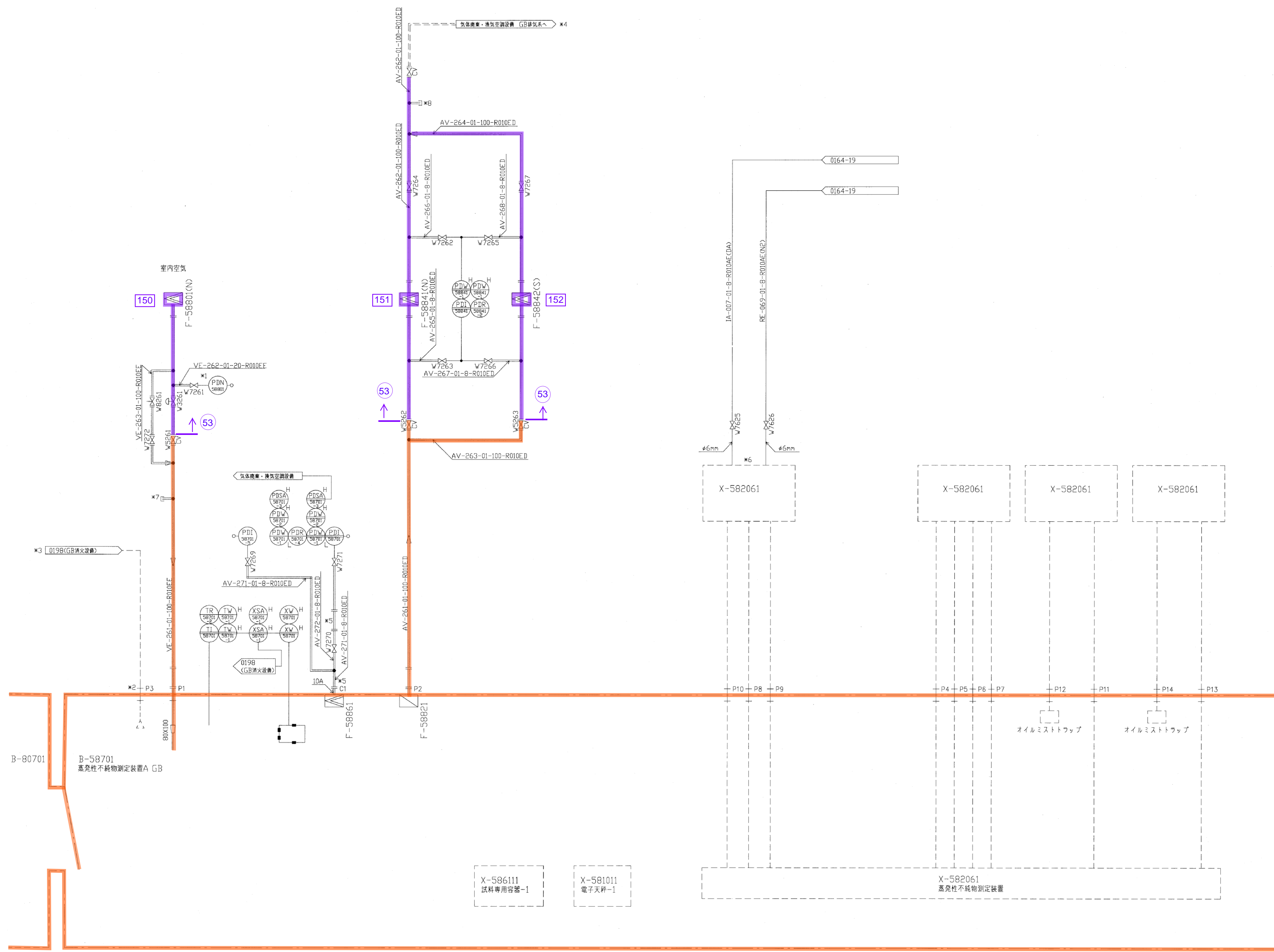
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに同じでは別室第2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ設置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- \*4 クローボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フワンジ(8AX10A)。
- \*6 試運転時流量測定用10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)詰末部にねじ込みキャップ設置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロア図 (B-71701,71702) 工程:0164(GB) (8/22)		



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室2室にも表示する。

3. 注記（本図中の注記は下記に示す通り）

\*1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ処置を施す。

\*2 給気口近傍に設置する。

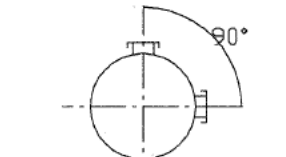
\*3 防火設備（GB防火設備）EFD参照。

\*4 クロップボックス廻り換気系統図（PM-0171-4422-002）参照。

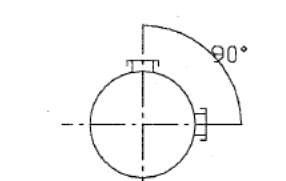
\*5 異径フランジ（BAX10A）。

\*6 分析機器配管線図（PM-0164-4141-001）参照。

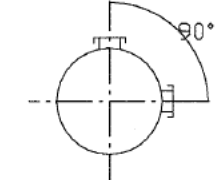
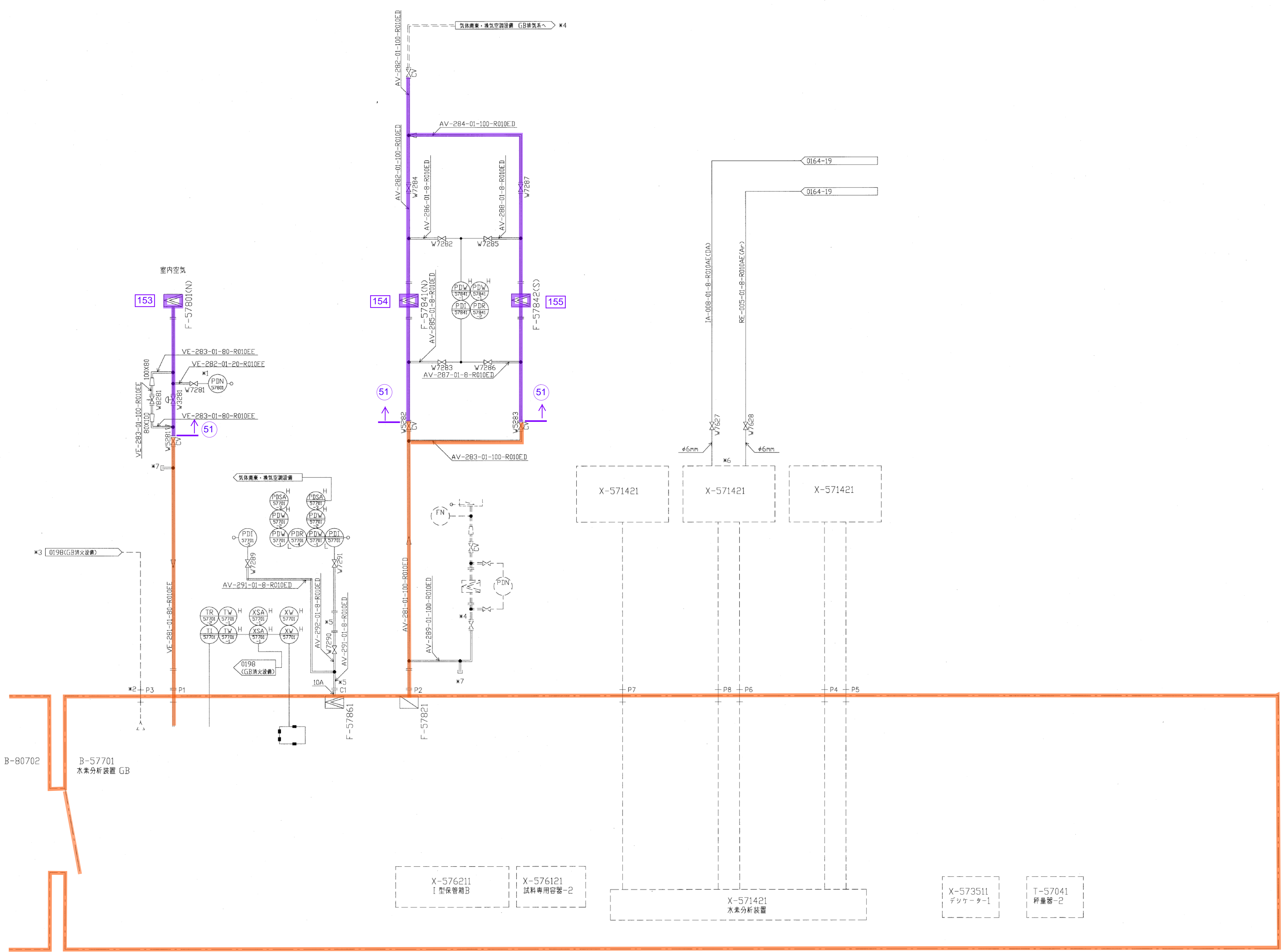
\*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所（可能な範囲で短く）  
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
（試運転終了後溶接キャップ止めとする）



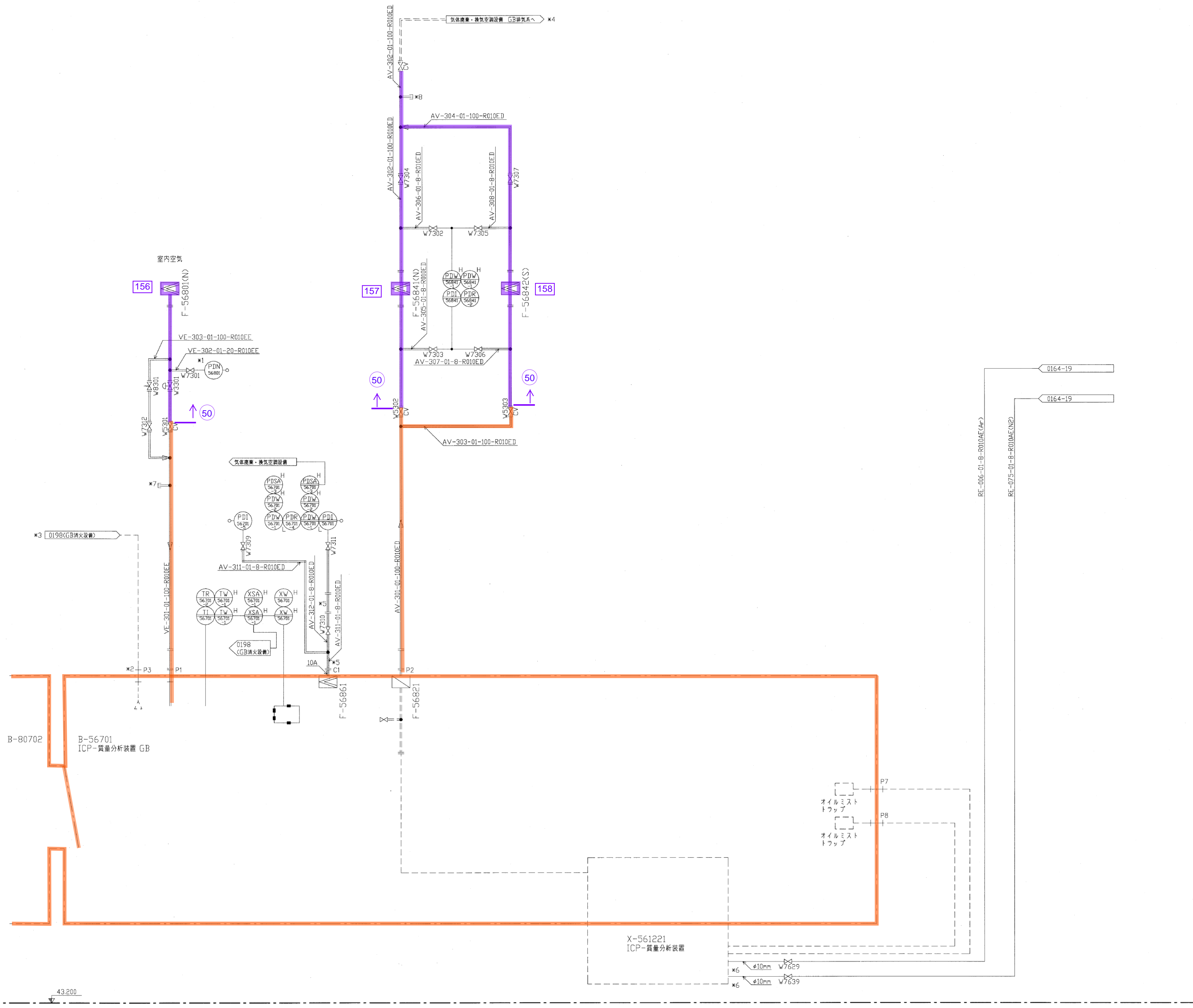
\*8 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所（可能な範囲で短く）  
請末部にねじ込みキャップ処置を施す。

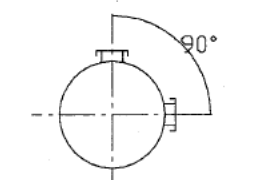
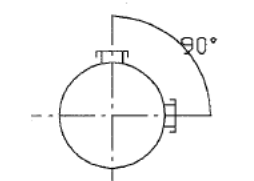


客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋（PA）分析設備（G） 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 （B-58701） 工程：0164（GB）（9/22）		

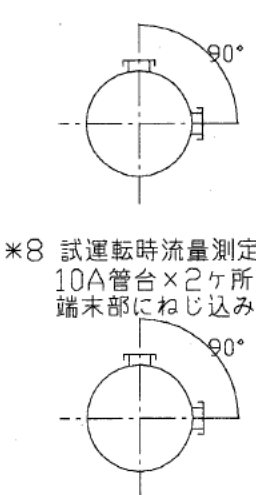
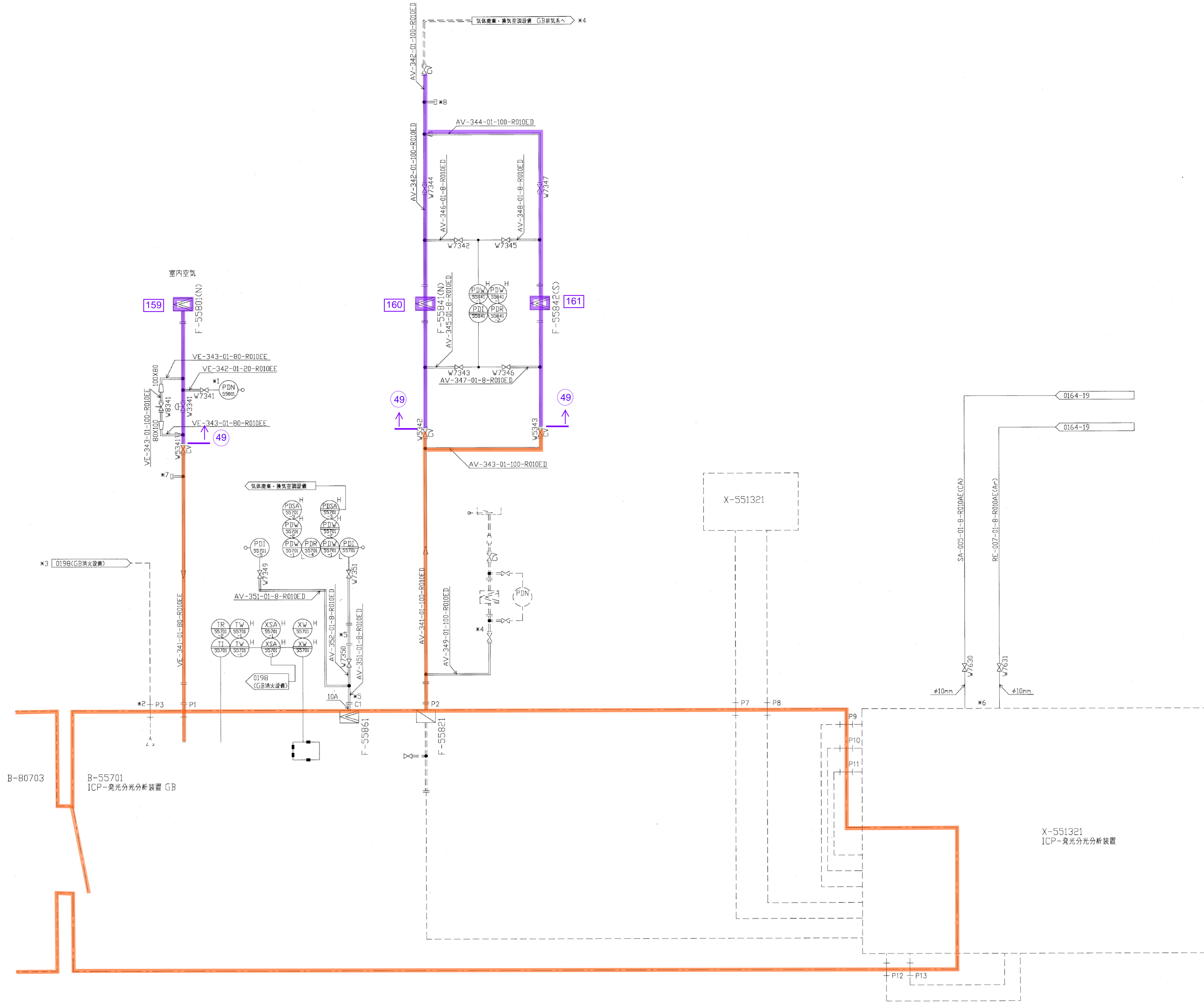


※先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-57701) 工程: 0164 (GB) (10/22)		



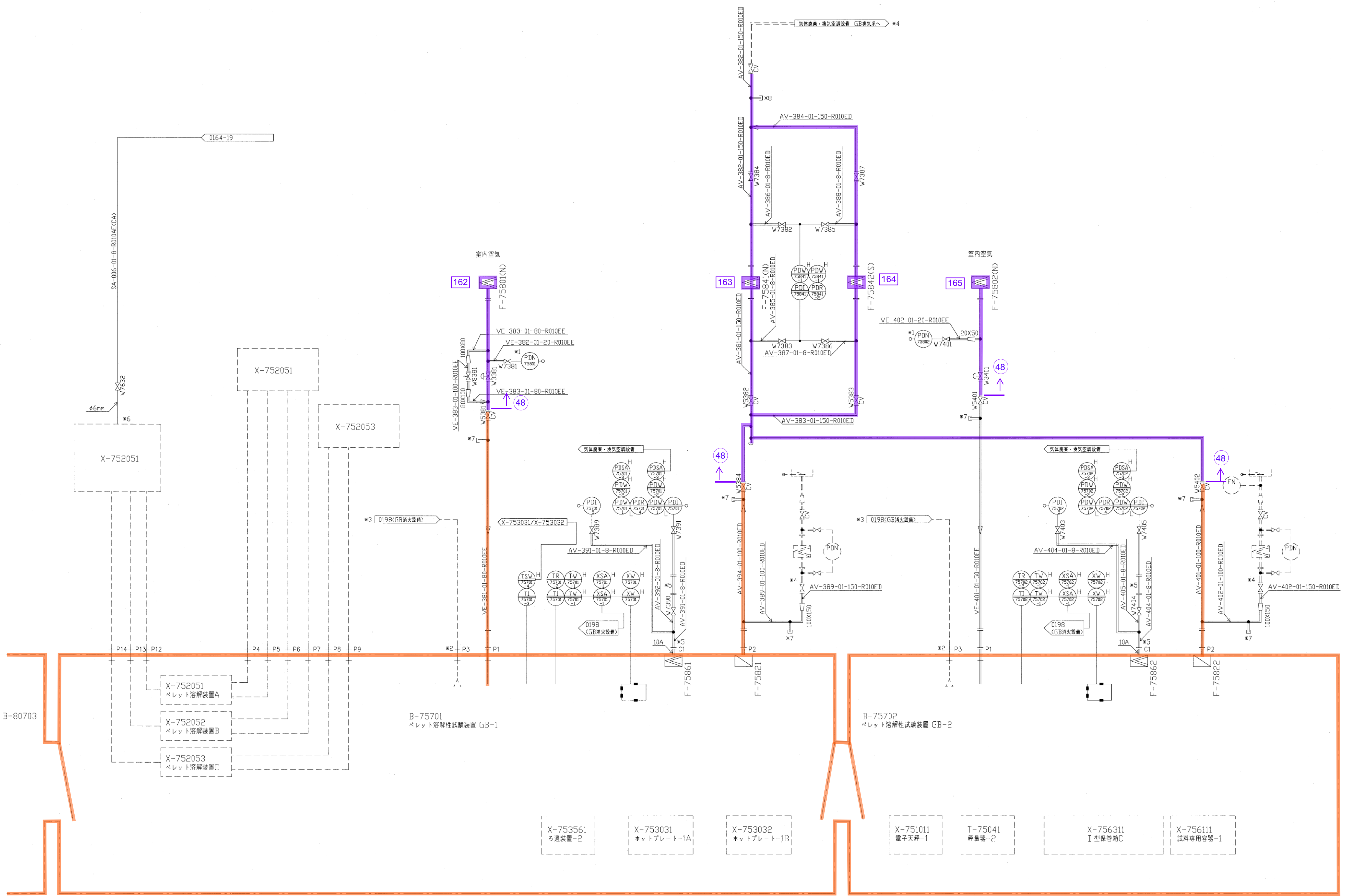
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別図第2室にも表示する。
3. 注記 (本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ処置を施す。
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防火設備 (GB防火設備) EFD参照。
  - \*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 異径フランジ (BAX10A)。
  - \*6 分析機器配管線図 (PM-0164-4141-001)参照。
  - \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)  
端部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
- 
- \*8 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)  
端部にねじ込みキャップ処置を施す。
- 

客先名	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-56701) 工程: 0164 (GB) (11/22)		



実務名	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-55701) 工程:0164(GB) (12/22)		



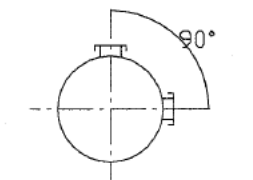


備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

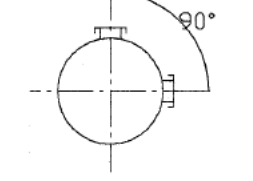
記号	名称
	消火器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別冊2室にも表示する。  
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、積末部にねじ込みキャップ設置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防消火設備(GB消火設備)EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フランジ(BAX10A)。
- \*6 分析機器配管系統図(PM-0164-4141-001)参照。
- \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
積末部にねじ込みキャップ設置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

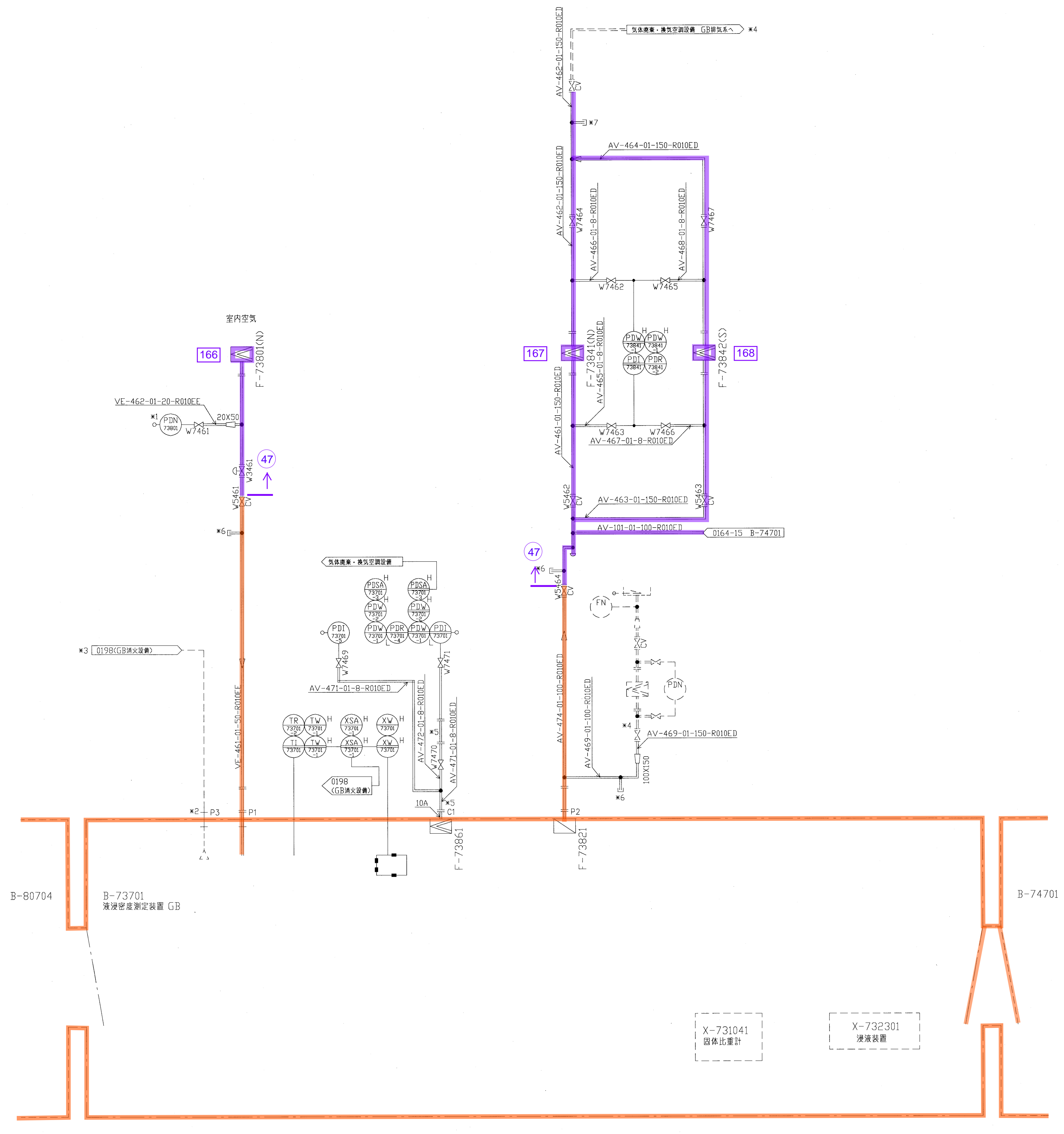


\*8 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
積末部にねじ込みキャップ設置を施す。



発注先	日本原燃株式会社	図面/仕様/規格/標準	オーダーアイテム 2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図面名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-75701,75702) 工程:0164(GB) (13/22)		

313分析第2室



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

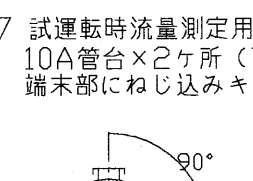
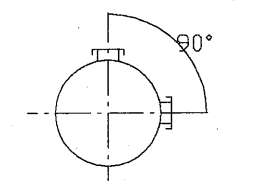
(凡例)

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに同じくは別室第2室にも表示する。

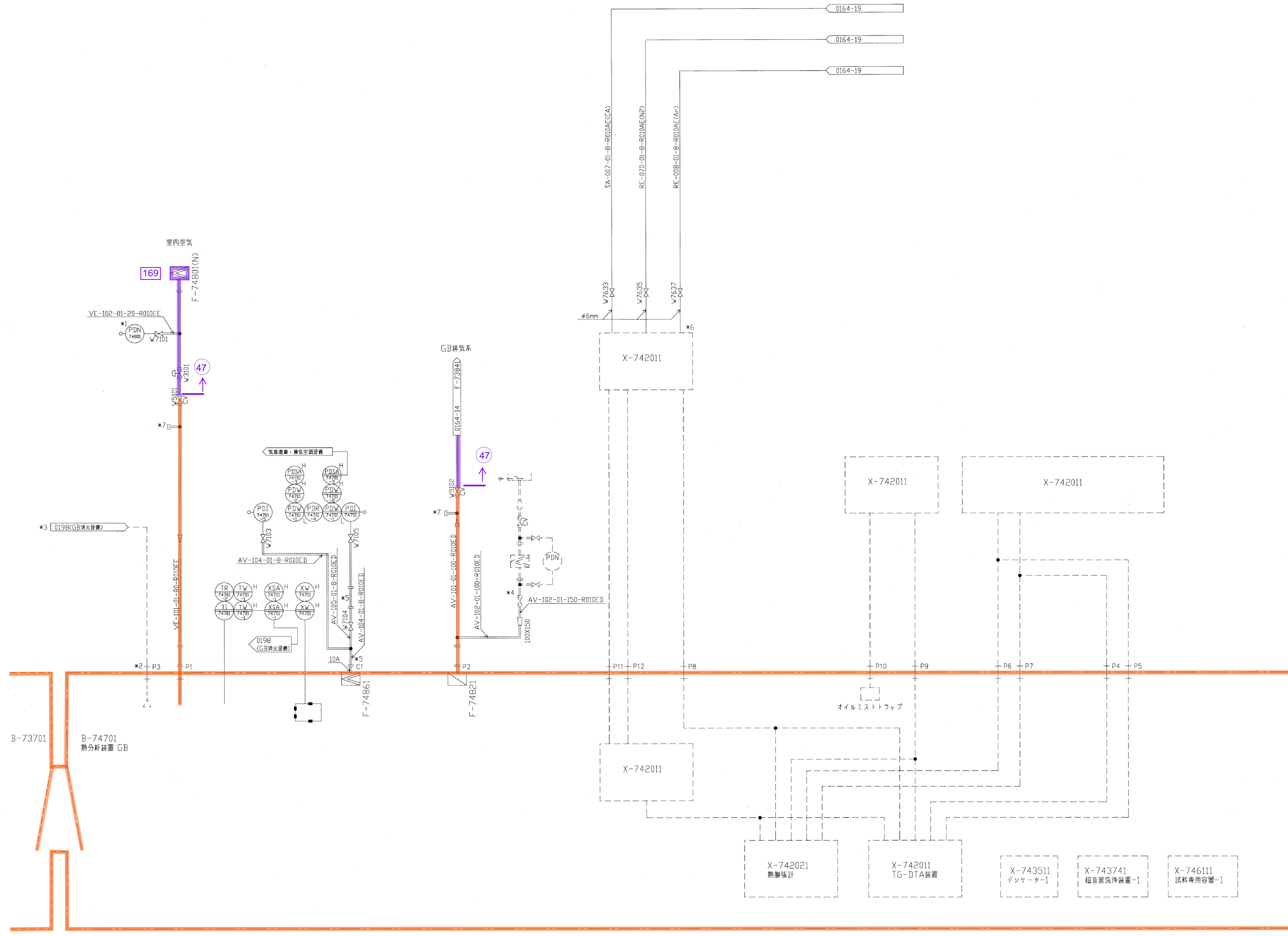
3. 注記 (本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、端末部にねじ込みキャップ設置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備 (GB消火設備) EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フランジ (8AX10A)。
- \*6 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)  
端末部にねじ込みキャップ設置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
- \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)  
端末部にねじ込みキャップ設置を施す。



客先名	日本原燃株式会社	オーダーファイル	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-73701) 工程: 0164 (GB) (14/22)		

313分析装置室



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

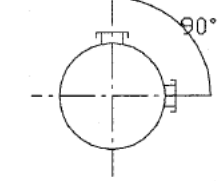
(凡例)

記号	名称
	貫通口

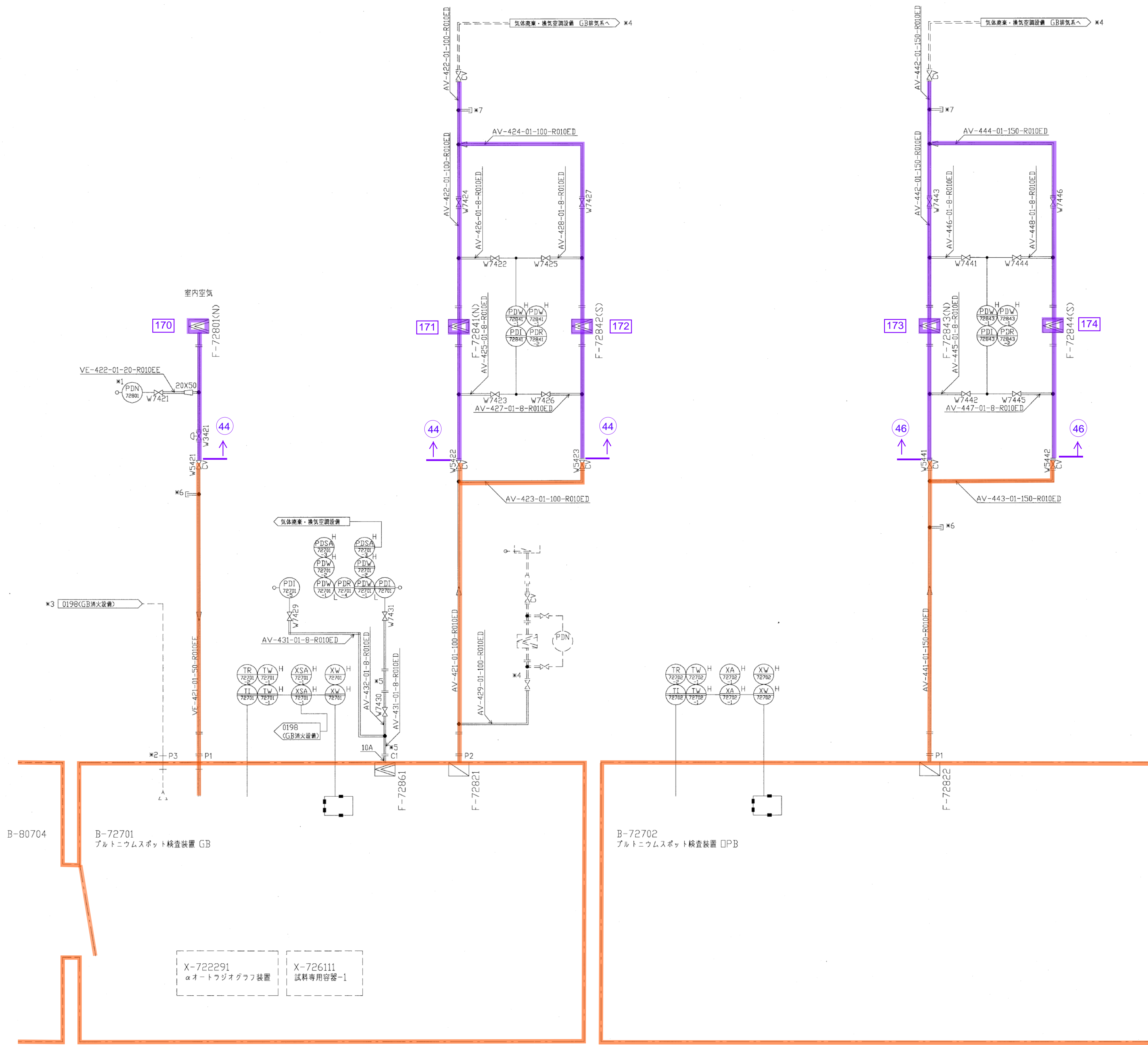
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別制御室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、請末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備(GB消火設備)EFD参照。
- \*4 クロークボックス廻り換気系統図(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径フランジ(BAX10A)。
- \*6 分析機器配管線図(PM-0164-4141-001)参照。
- \*7 試運転時流量測定用10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)請末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



会社名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 不純物分析・物性測定設備 エン지니어リングフロア図 (B-74701) 工程:0164 (GB) (15/22)		



備考

1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては  
制御室2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

\*1 仮設計図取外し時、請未部にねじ込みキャップ  
処置を施す。

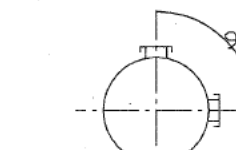
\*2 給気口近傍に設置する。

\*3 防火設備 (GB防火設備) EFD参照。

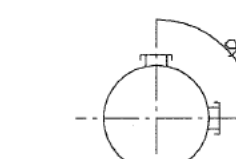
\*4 グローブボックス廻り換気系統図  
(PM-0171-4422-002)参照。

\*5 異径フランジ (BAX10A)。

\*6 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
請未部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

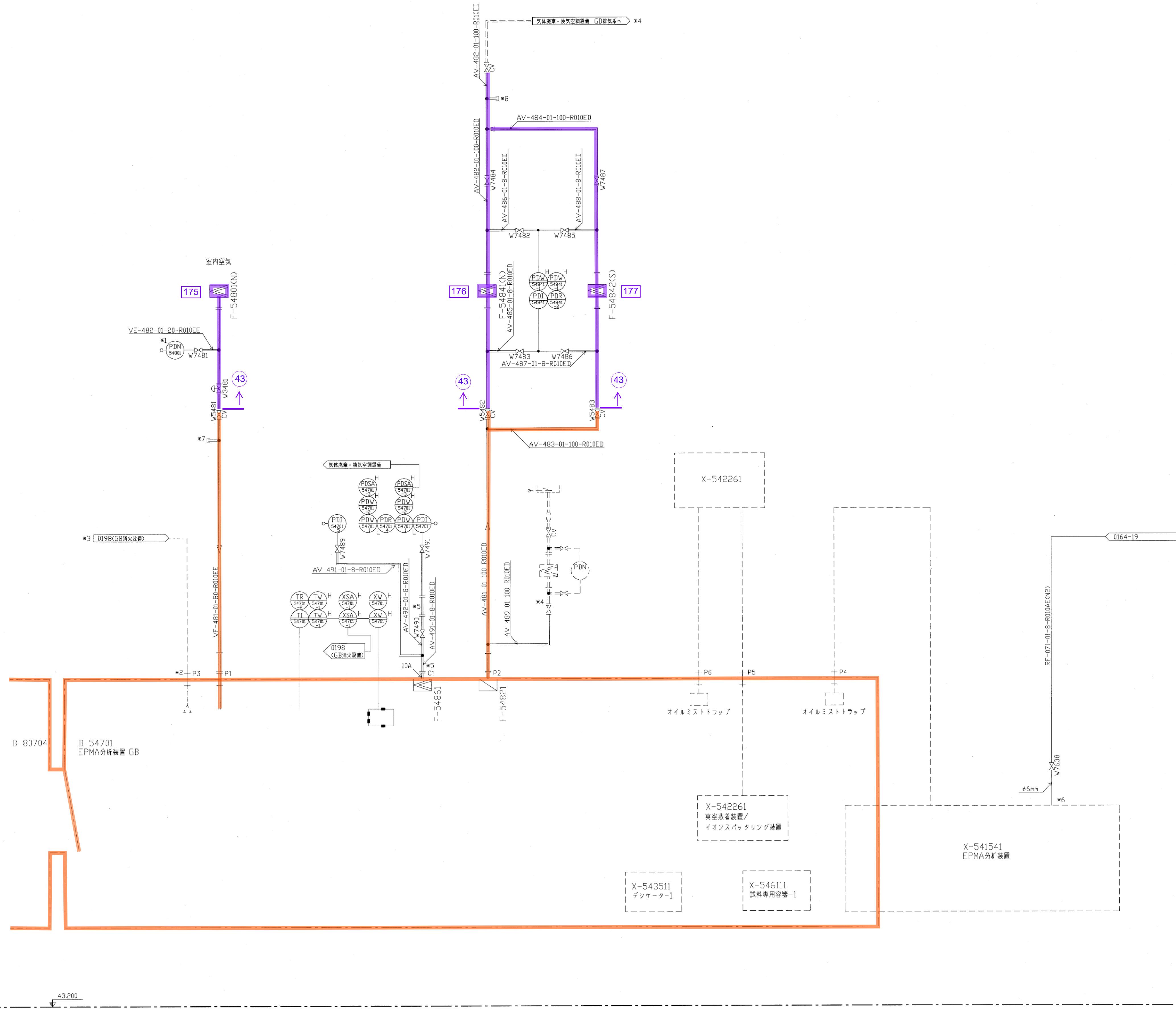


\*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
請未部にねじ込みキャップ処置を施す。



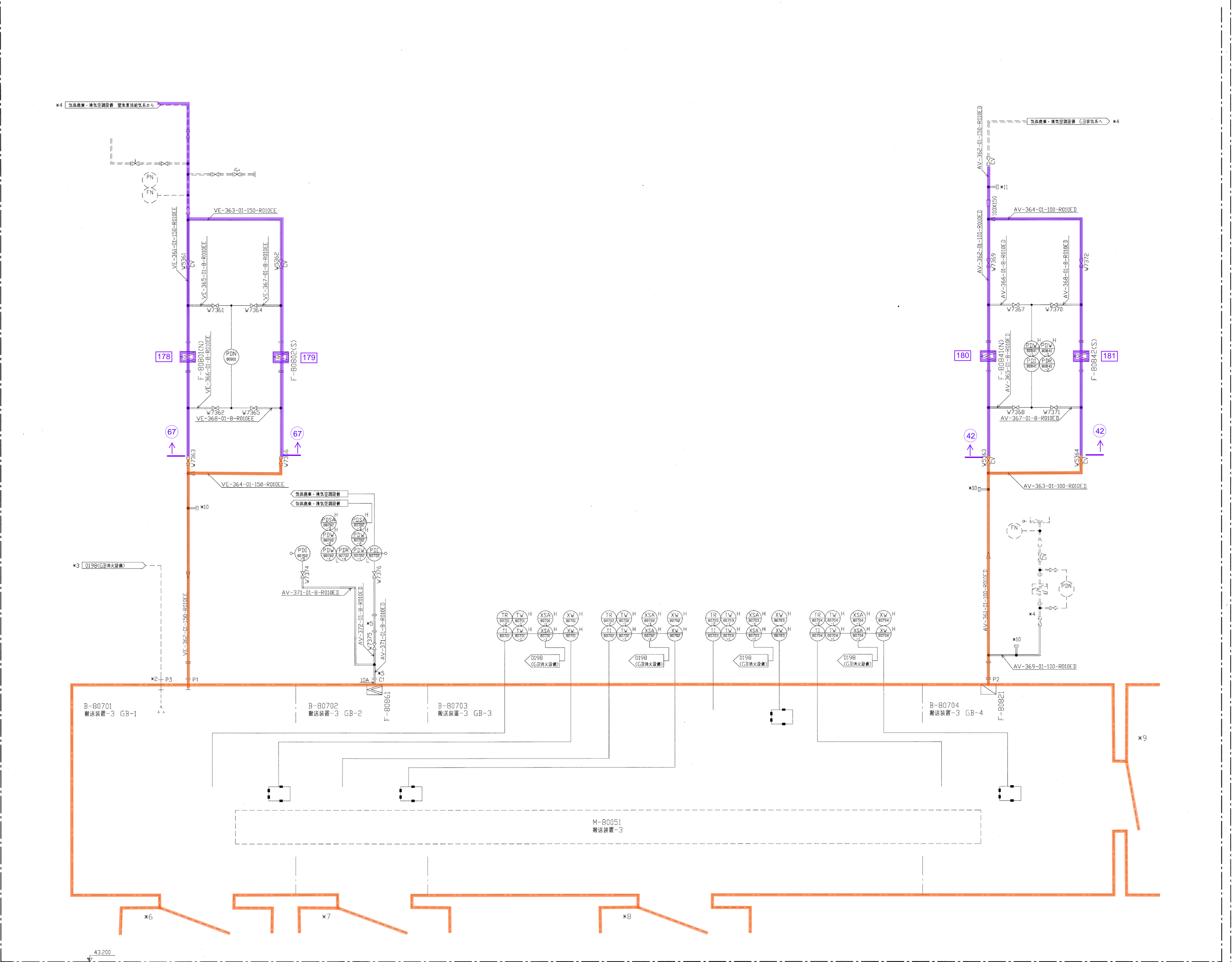
※先名	日本原燃株式会社	オーダーファイル	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-72701,72702) 工程:0164 (GB) (16/22)		

313分析第2室



- 備考
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。
- | 記号 | 名称  |
|----|-----|
|    | 貫通口 |
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別部室2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 仮設計器取外し時、端未部にねじ込みキャップ取付を施す。
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防消火設備 (GB消火設備) EFD参照。
  - \*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 美徑フランジ (BAX10A)。
  - \*6 分析機器配管配線図 (PM-0164-4141-001)参照。
  - \*7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端未部にねじ込みキャップ取付を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
  - \*8 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端未部にねじ込みキャップ取付を施す。

※先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図名	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エンジニアリングフロー図 (B-54701) 工程: 0164 (GB) (17/22)		

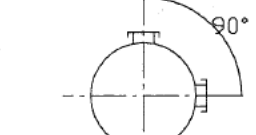


備考

1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。  
(凡例)

記号	名称
	貫通口

2. 中央監視室に表示がある計装TAGについては  
別図第2室にも表示する。
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ  
処置を施す。
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防火設備 (GB防火設備) EFD参照。
  - \*4 クローブボックス廻り換気系統図  
(PM-0171-4422-002)参照。
  - \*5 異径ファンジ (BAX10A)。
  - \*6 B-80701と隣接するクローブボックスは以下の通り。  
B-11701,B-58701,B-59701, B-90703
  - \*7 B-80702と隣接するクローブボックスは以下の通り。  
B-50701,B-56701,B-57701
  - \*8 B-80703と隣接するクローブボックスは以下の通り。  
B-20701,B-52701,B-55701  
B-75701,B-90705
  - \*9 B-80704と隣接するクローブボックスは以下の通り。  
B-54701,B-70701,B-71701,B-72701,  
B-73701,B-90701
  - \*10 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)

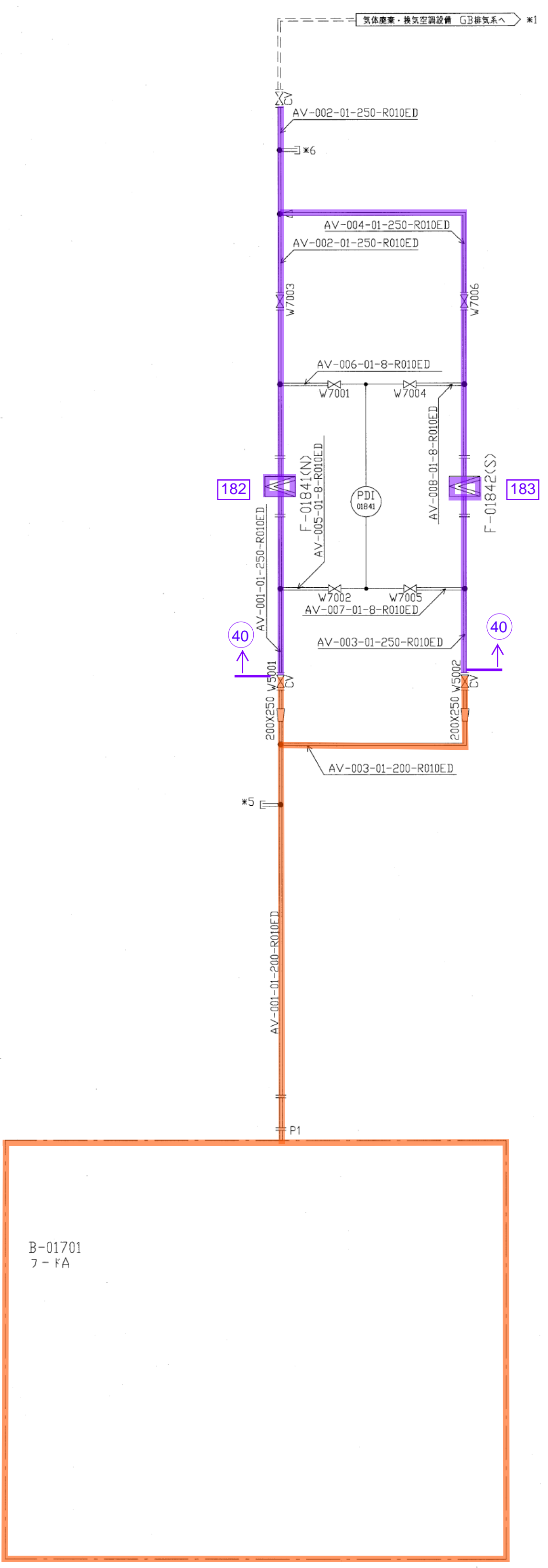


\*11 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



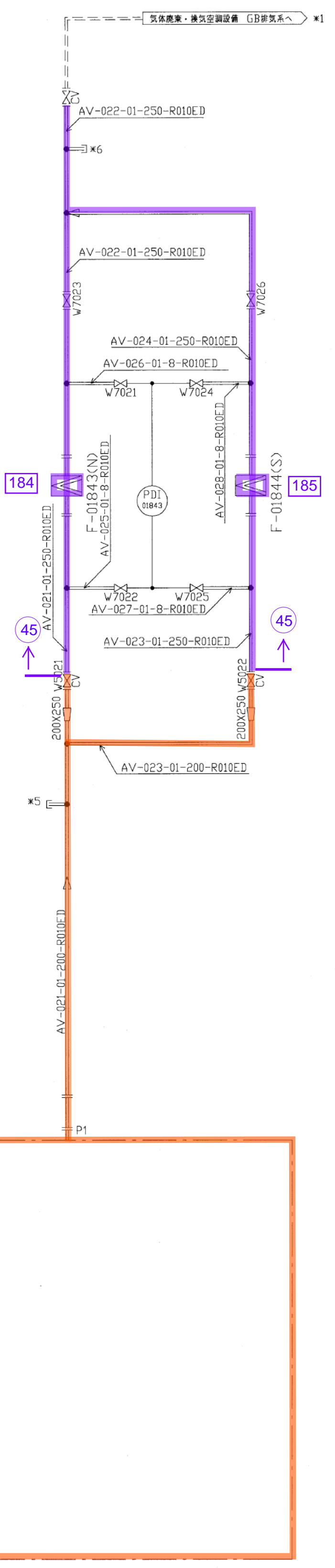
※先名	日本原燃株式会社	オーダーファイル	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 不純物分析・物性測定設備 エン지니어リングフロー図 (B-80701) I程:0164 (GB) (18/22)		

302分析第1室



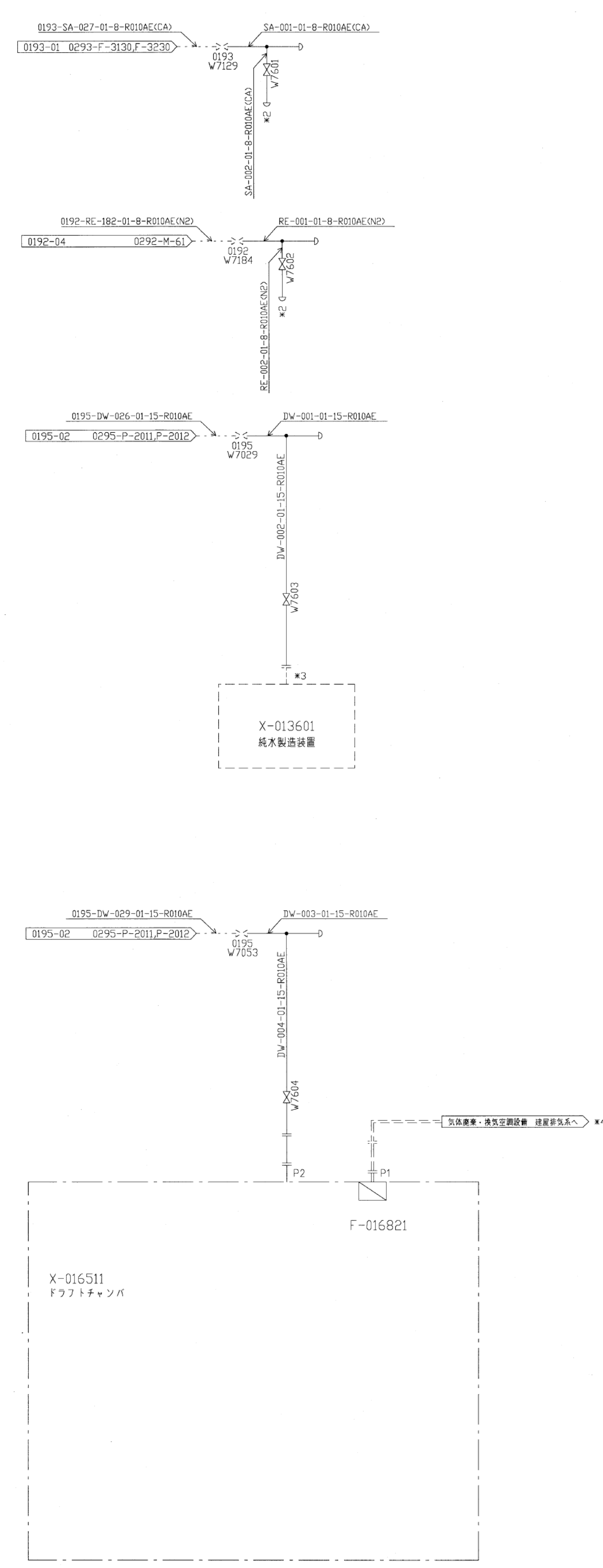
43.200

313分析第2室



43.200

305試薬準備室



44.700

備考

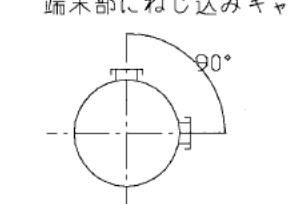
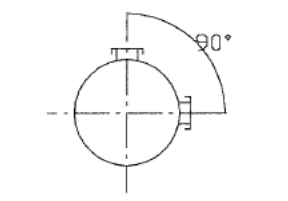
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

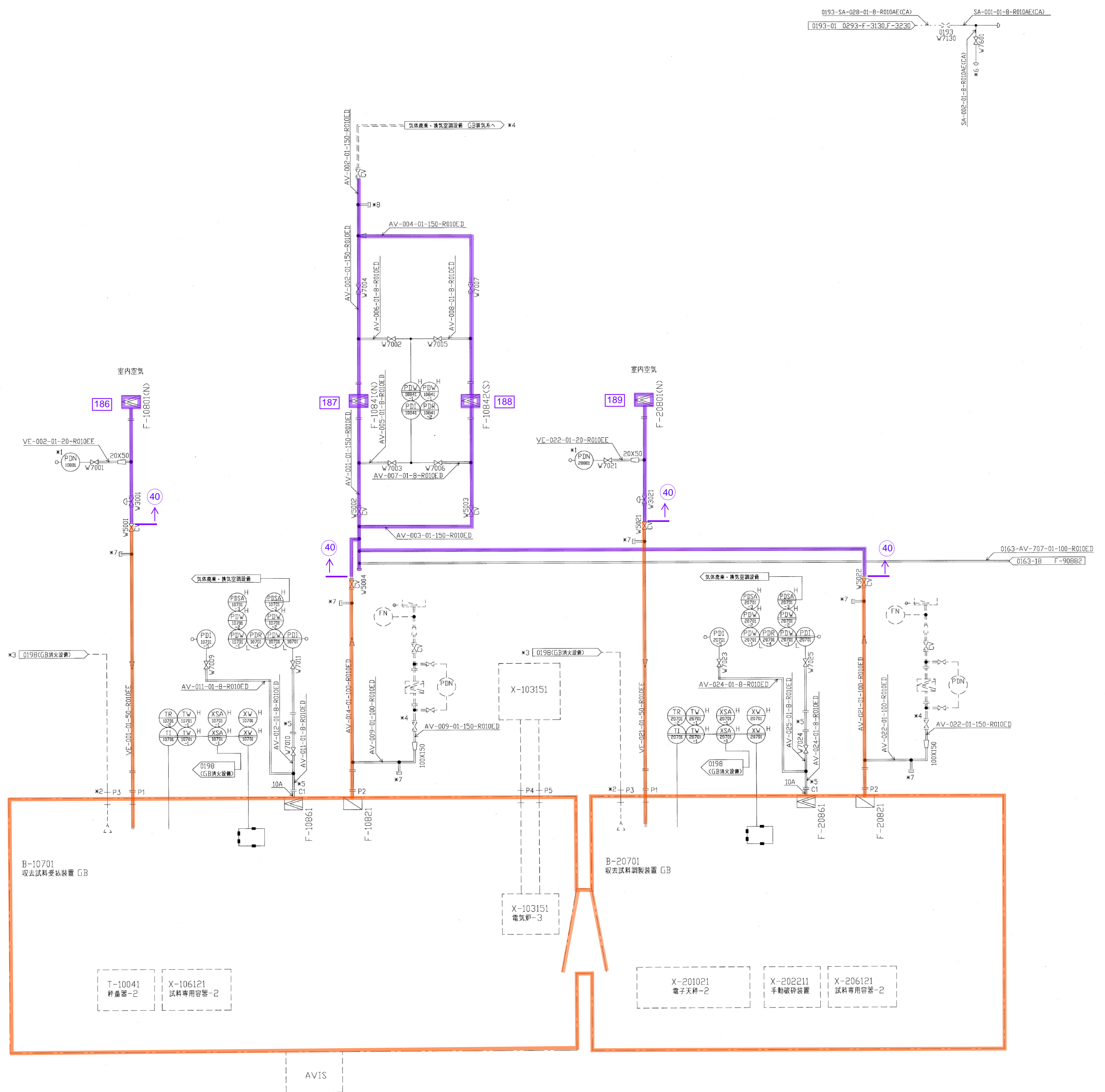
記号	名称
∩	貫通口

2. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- ※1 タロ-ボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- ※2 将来設置。
- ※3 分析機器配管配線図 (PM-0165-4141-001)参照。
- ※4 換気系統図 (PM-0171-4422-001)参照。
- ※5 試運転時流量測定用  
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端末部にねじ込みキャップ設置を施す。  
(試運転終了後溶接スナップ止めとする)
- ※6 試運転時流量測定用  
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端末部にねじ込みキャップ設置を施す。

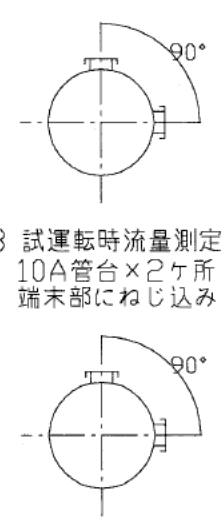


製先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計種別	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 分析付属設備 エンゾニアリンクフロ-図 (B-01701,01702,X-016511) 工程:0165 (GB) (1/1)		



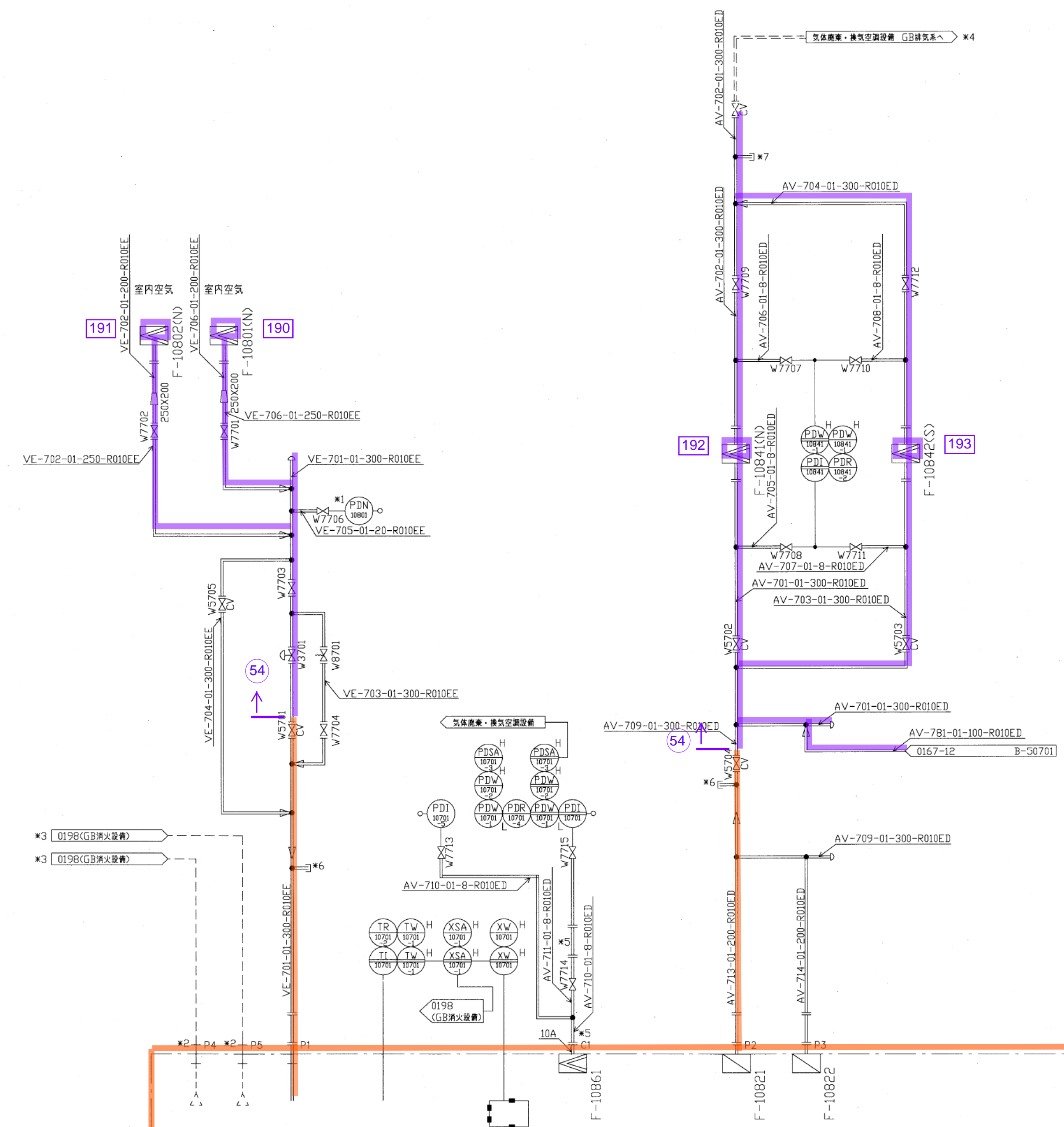
- 備考
- 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。  

記号	名称
II - II	貫通口
  - 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室2室にも表示する。
  - 注記(本図中の注記は下記に示す通り)
    - ※1 仮設計器取外し時、端末部にねじ込みキャップ処置を施す。
    - ※2 絶気口近傍に設置する。
    - ※3 防消火設備 (GB消火設備) EFD参照。
    - ※4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
    - ※5 異径ファンジ (8AX10A)。
    - ※6 将来設置。
    - ※7 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ処置を施す。(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
    - ※8 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端末部にねじ込みキャップ処置を施す。



客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 査察専用設備 エンジェリングフロア図 (B-10701, 20701) 工程: 0166 (GB) (1/1)		



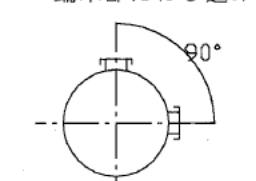
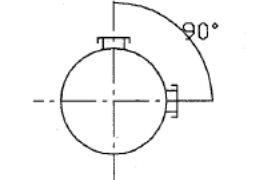


記号	名称
	貫通口
	差動分布型温度上昇検出器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては、制御室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

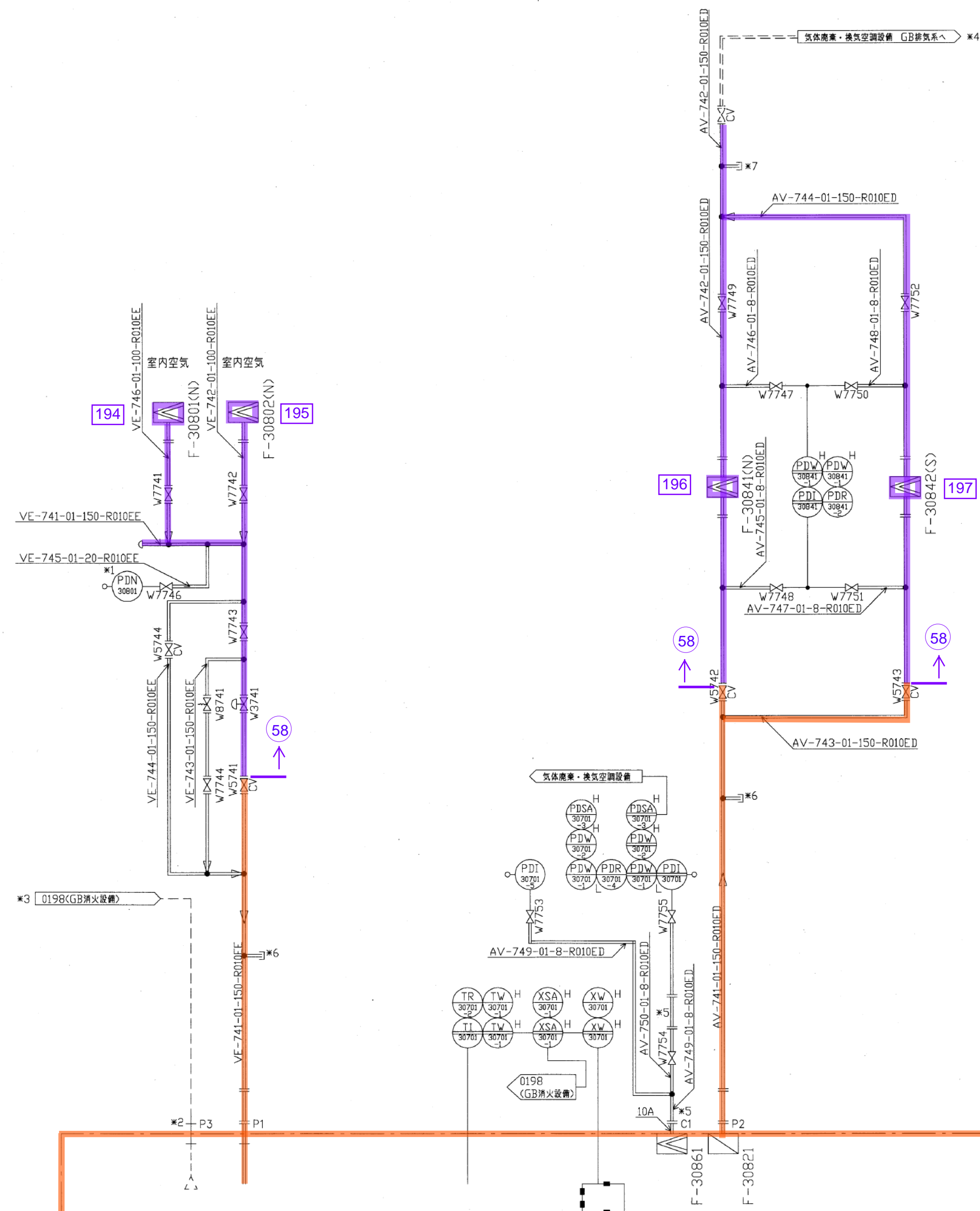
- \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 消防火設備(GB消防設備) EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 真径ファンジ (8AX10A)。
- \*6 試運転時流量測定用  
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)
- \*7 試運転時流量測定用  
32A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



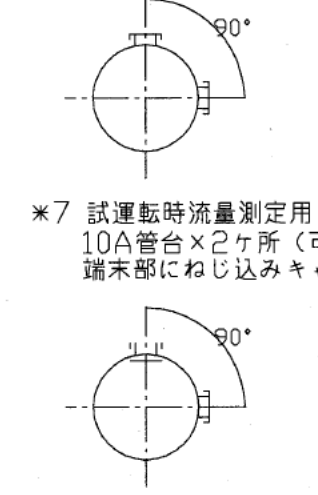
B-10701  
分析溶液中和固液分離GB

T-10041 秤量器-2A  
T-10042 秤量器-2B  
X-101061 水分計  
X-101141 自動測定装置-2  
X-103541 マイクロピペットA

委託先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 分析溶液処理設備 エンジニアリングフロー図 (B-10701) 工程:0167 (9/14)		



2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては制御室2室にも表示する。
3. 注記 (本図中の注記は下記に示す通り)
- \*1 仮設計器取外し時、端部にねじ込みキャップ処置を施す。
  - \*2 給気口近傍に設置する。
  - \*3 防火設備 (GB 消防設備) EFD 参照。
  - \*4 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002) 参照。
  - \*5 異径ファンジ (8AX10A)。
  - \*6 試運転時流量測定用  
10A 管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



- \*7 試運転時流量測定用  
10A 管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く) 端部にねじ込みキャップ処置を施す。

発注先	日本原燃株式会社	オーダー/アイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 分析設備 (G) 分析済液処理設備 エンジニアリングフロー図 (B-30701) 工程: 0167 (10/14)		

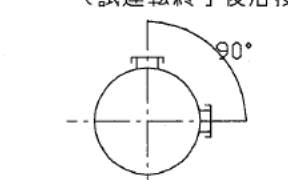
備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

記号	名称
	貫通口
	差動分布型温度上昇検出器

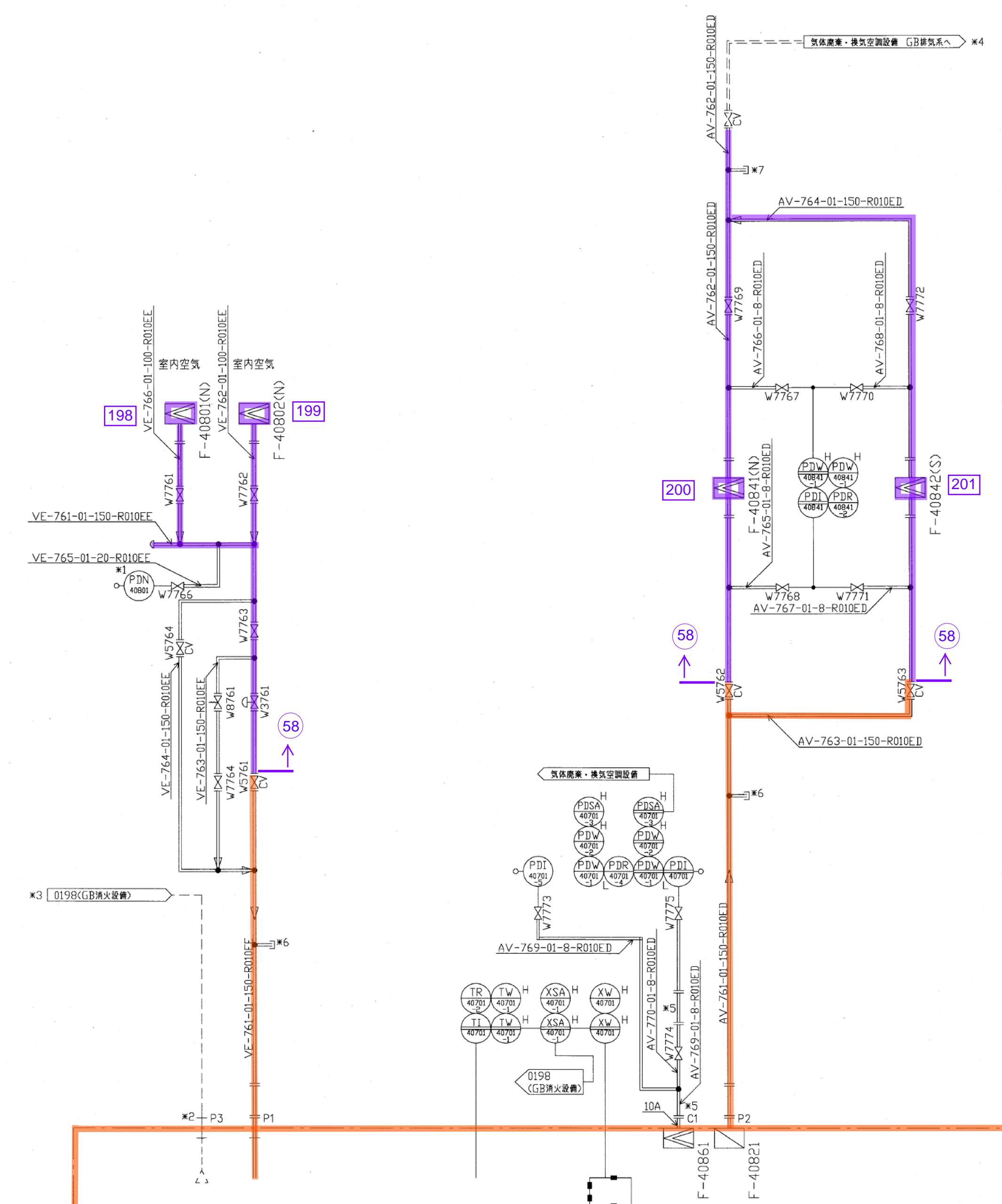
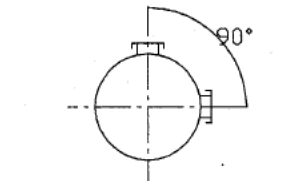
2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては  
制御第2室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ  
処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図  
(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径ファンジ(BAX10A)。
- \*6 試運転時流量測定用  
10A管径×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



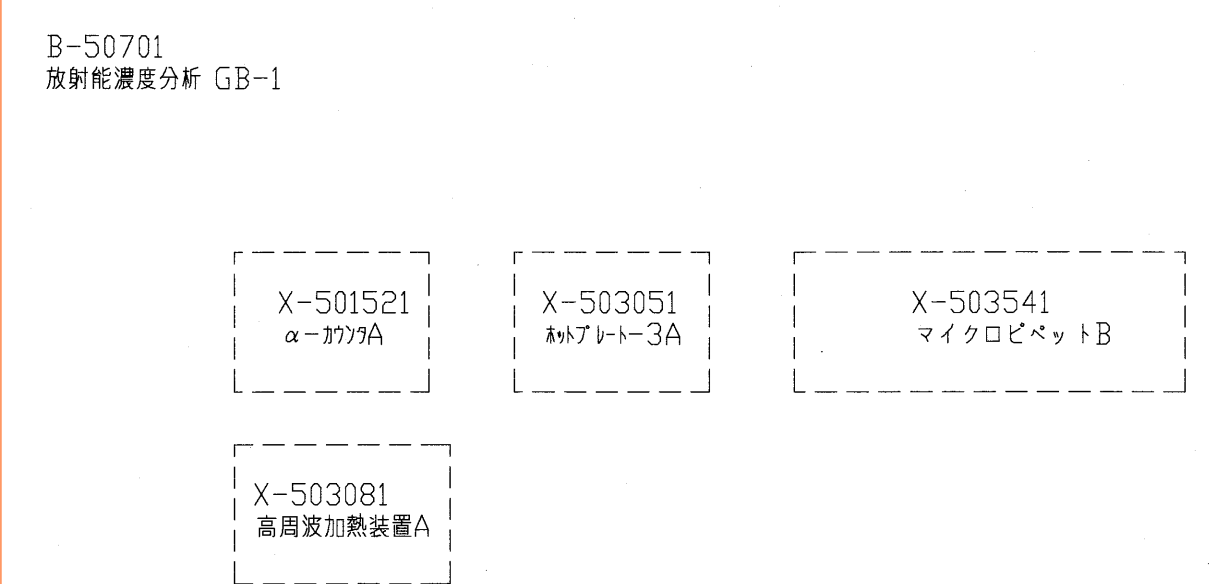
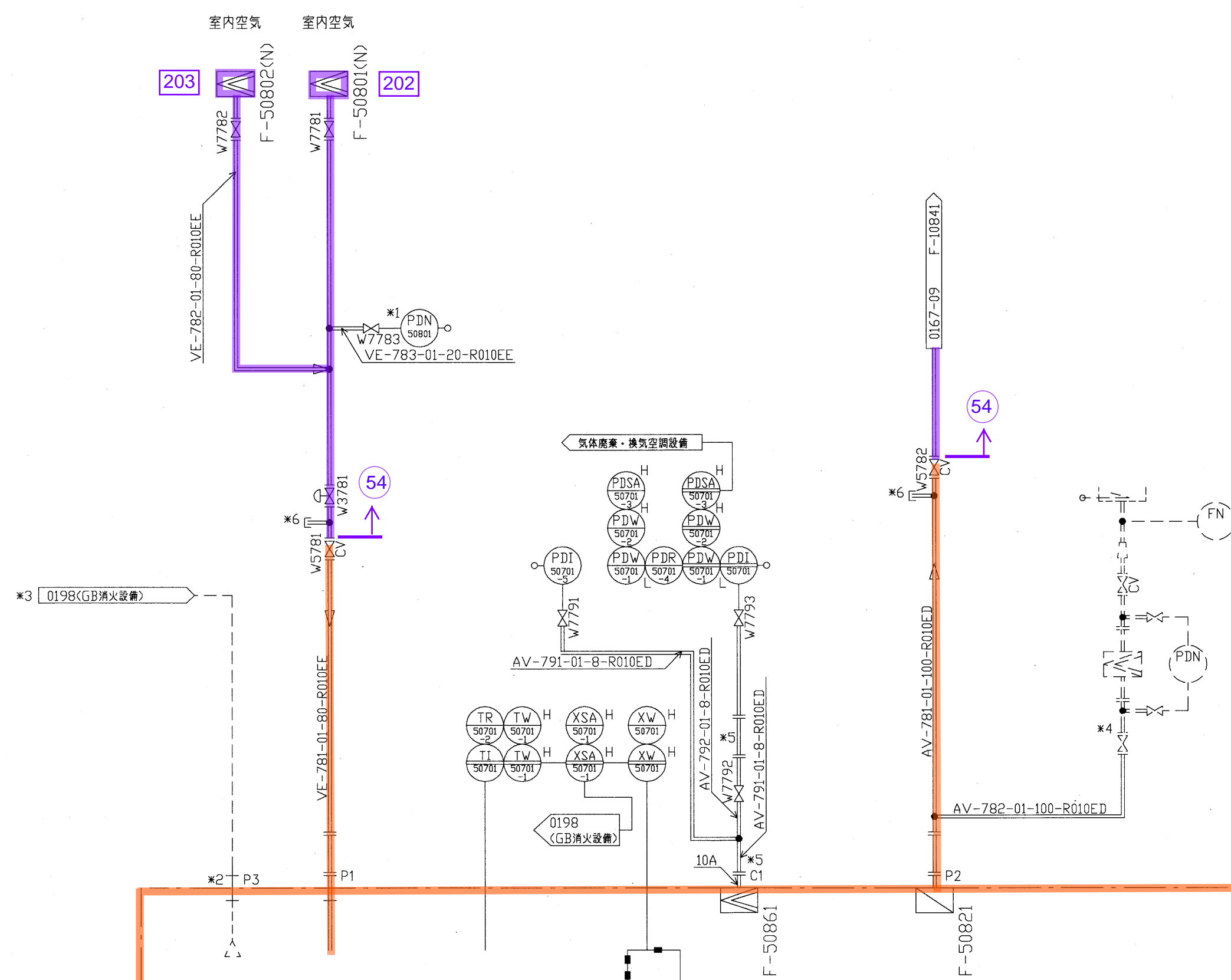
- \*7 試運転時流量測定用  
10A管径×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。



B-40701  
第2活性炭・吸着処理 GB

発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 分析済液処理設備 エンジニアリングフロー図 (B-40701) 工程:0167 (11/14)		

313分析第2室



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

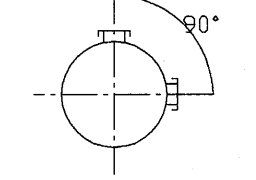
(凡例)

記号	名称
	貫通口
	差動分布型温度上昇検出器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては  
制御第2室にも表示する。

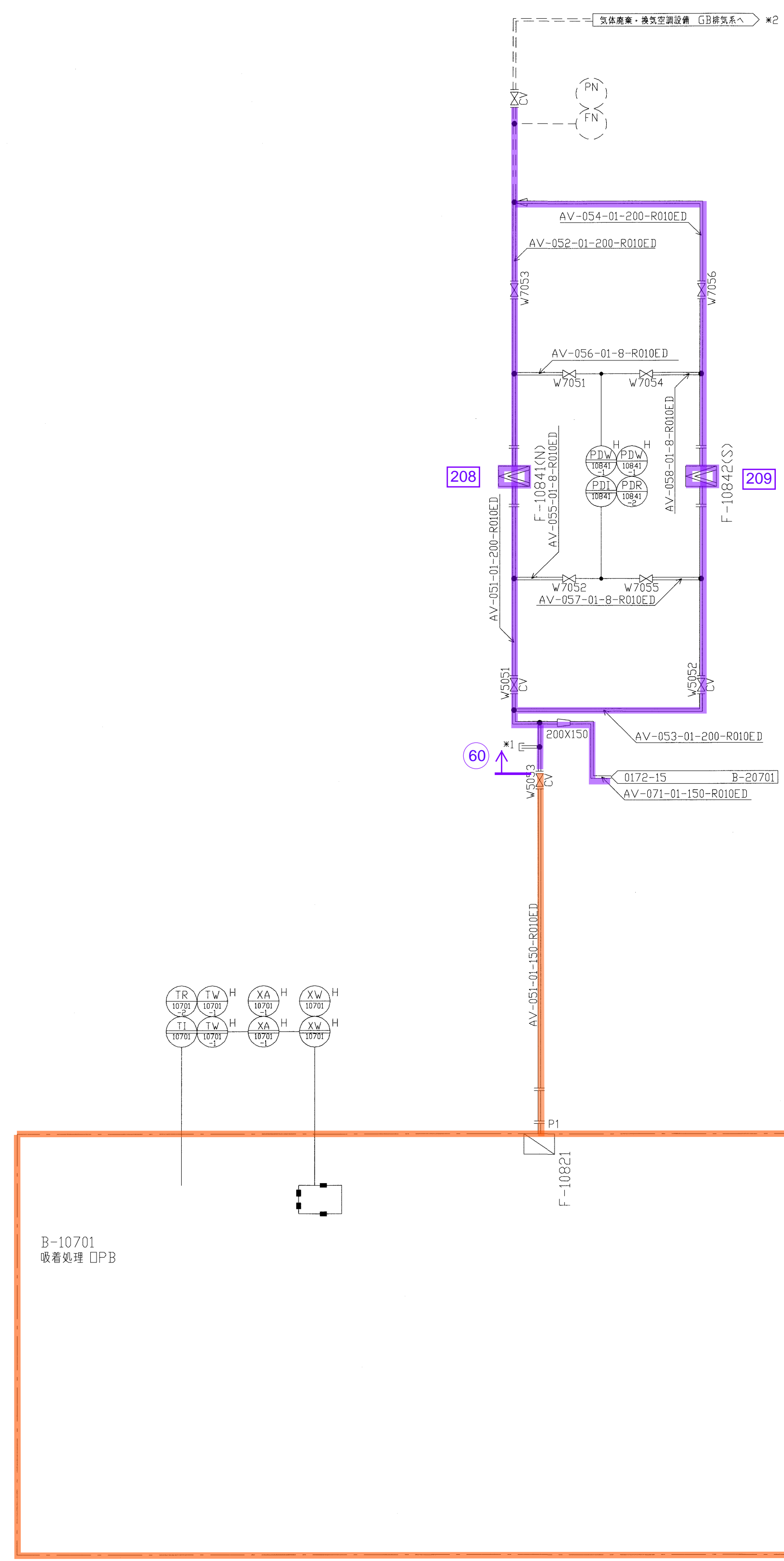
3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

- \*1 仮設計器取外し時、詰末部にねじ込みキャップ  
処置を施す。
- \*2 給気口近傍に設置する。
- \*3 防火設備(GB防火設備)EFD参照。
- \*4 グローブボックス廻り換気系統図  
(PM-0171-4422-002)参照。
- \*5 異径ファンジ(8AX10A)。
- \*6 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
詰末部にねじ込みキャップ処置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋(PA) 分析設備(G) 分析済液処理設備 エンジニアリングフロー図 (B-50701) 工程:0167 (12/14)		





備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

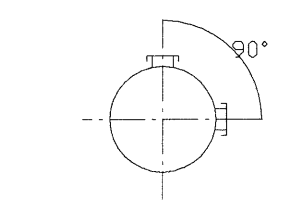
(凡例)

記号	名称
	普通口
	差動分布型温度上昇検出器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては  
制御室1室にも表示する。

3. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

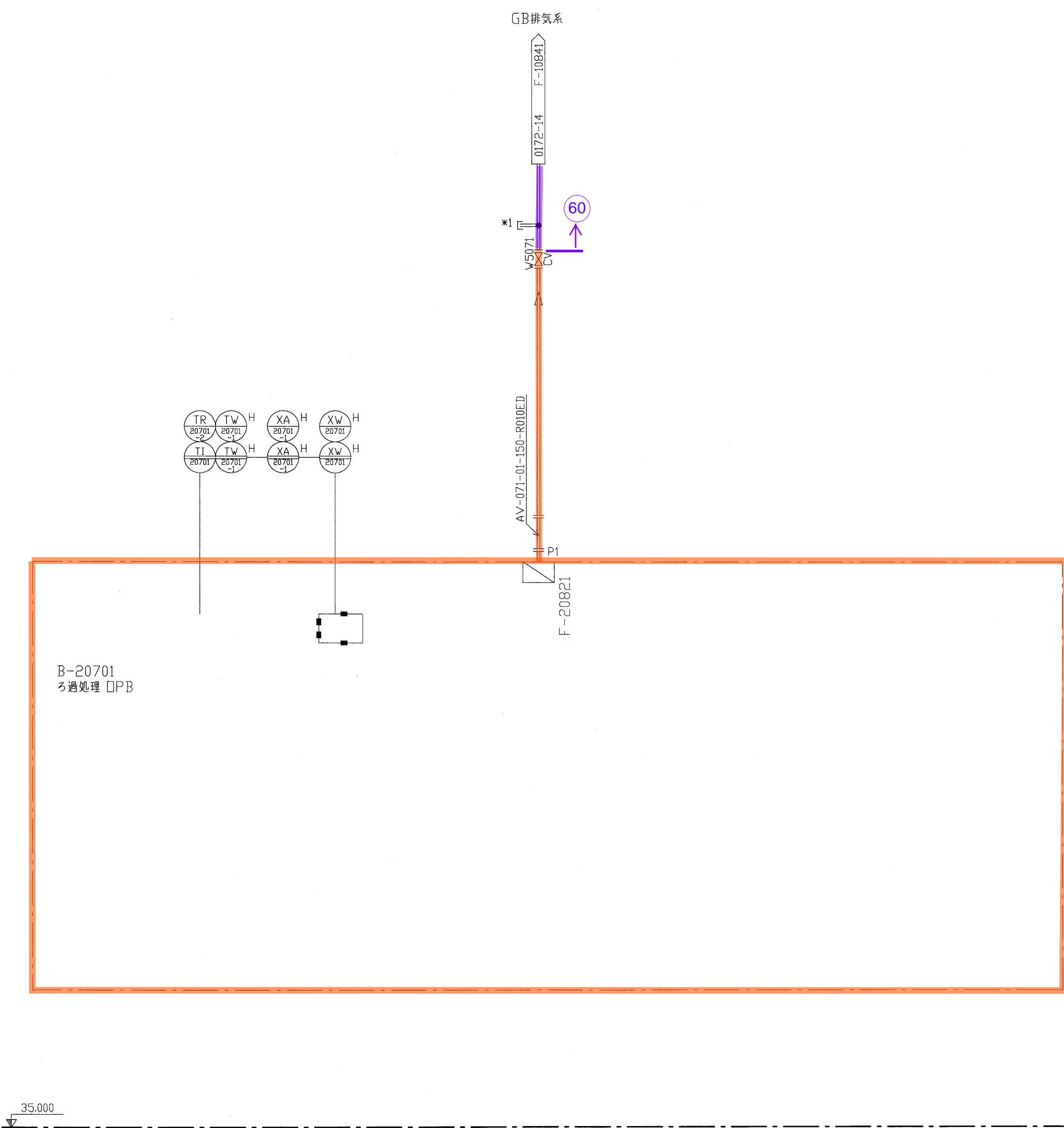
\*1 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所(可能な範囲で短く)  
端部にねじ込みキャップ設置を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



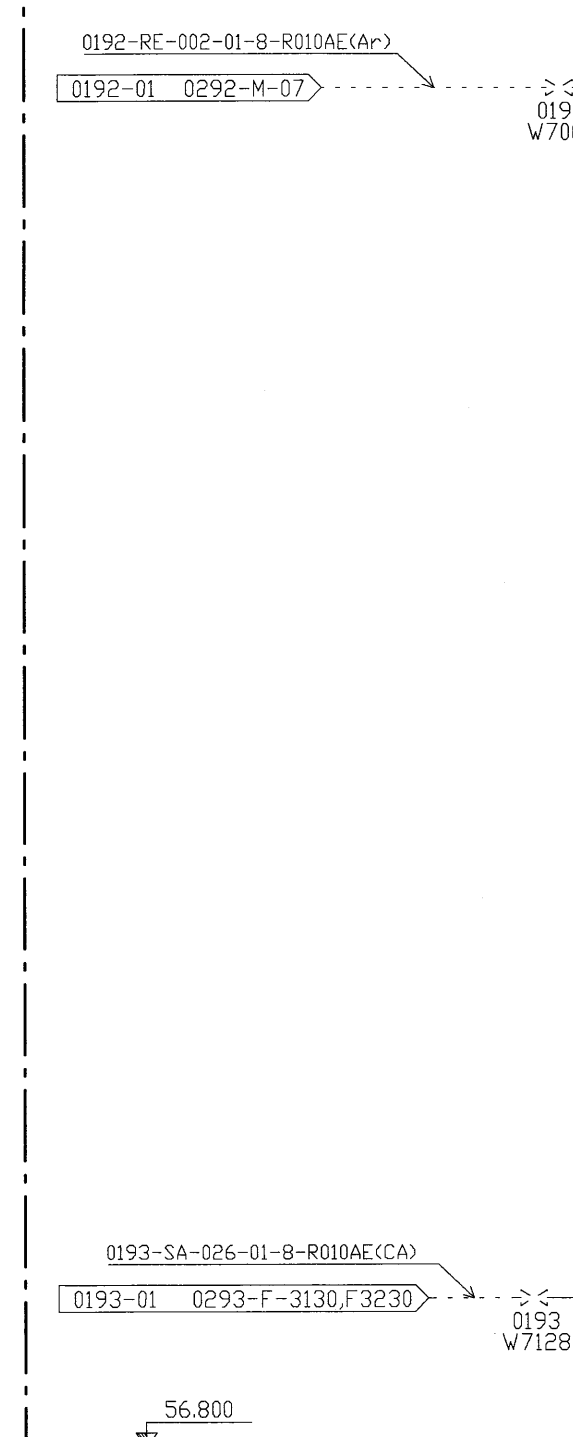
\*2 グローブボックス廻り換気系統図  
(PM-0171-4422-002)参照。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 液体廃棄設備 (J) 液体廃棄設備 エンジニアリングフロア図 (B-10701) 工程: 0172(14/15)		

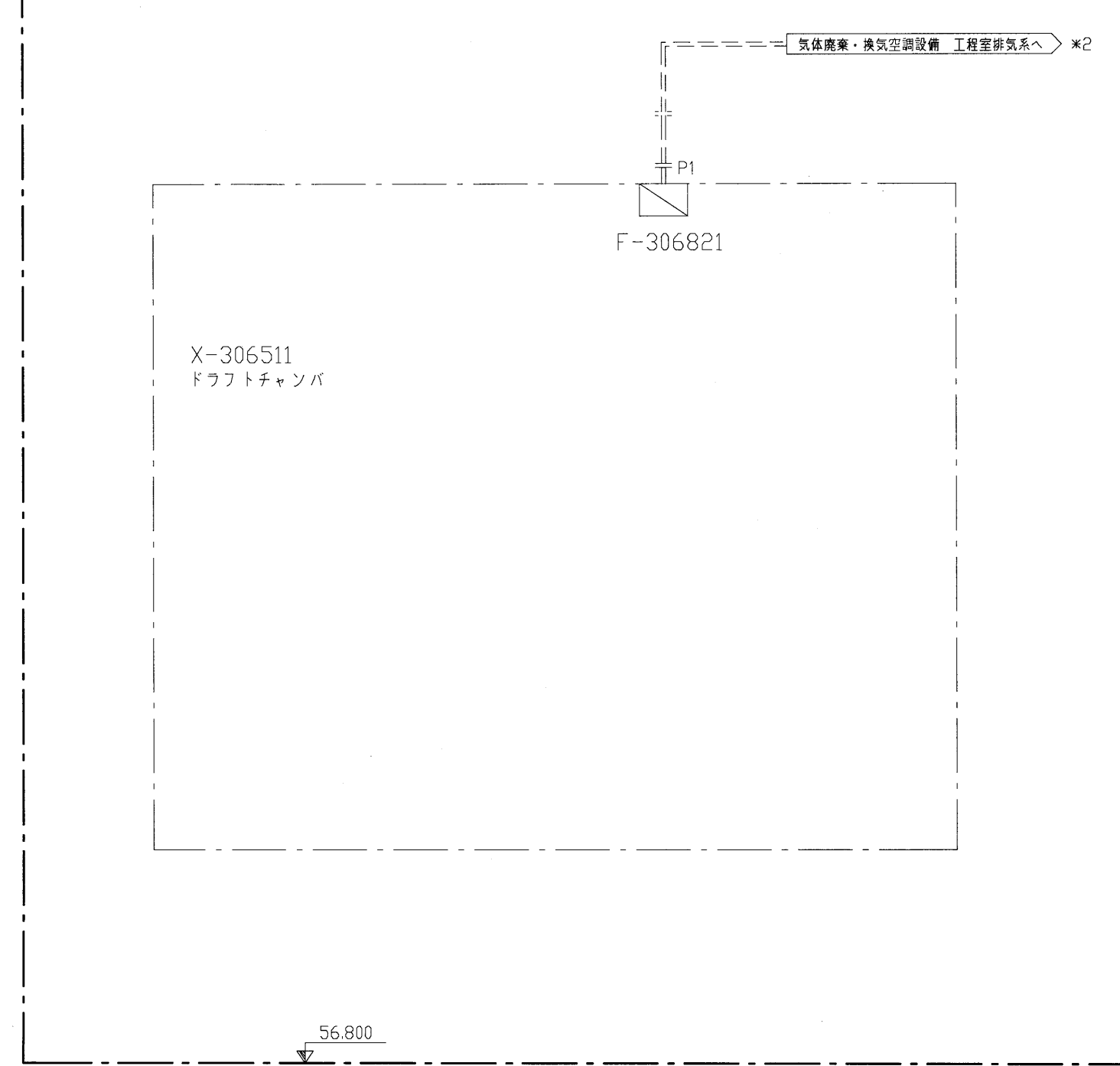
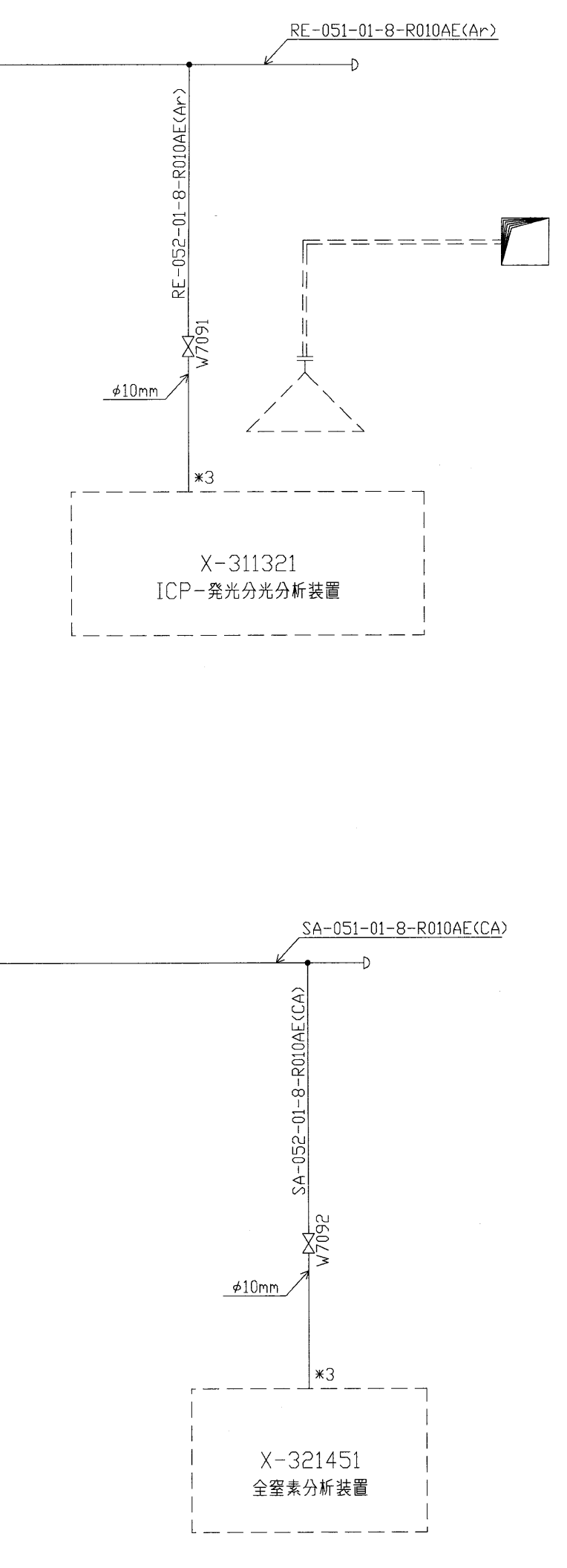
161液体廃棄物処理第2室



508地上1階東西第1廊下



503放管試料前処理室



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

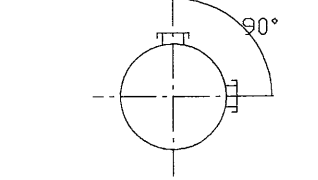
(凡例)

記号	名称
	貫通口
	活動分布型温度上限検出器

2. 中央監視室に表示がある計装TAGに関しては別図第1室にも表示する。

3. 注記 (本図中の注記は下記に示す通り)

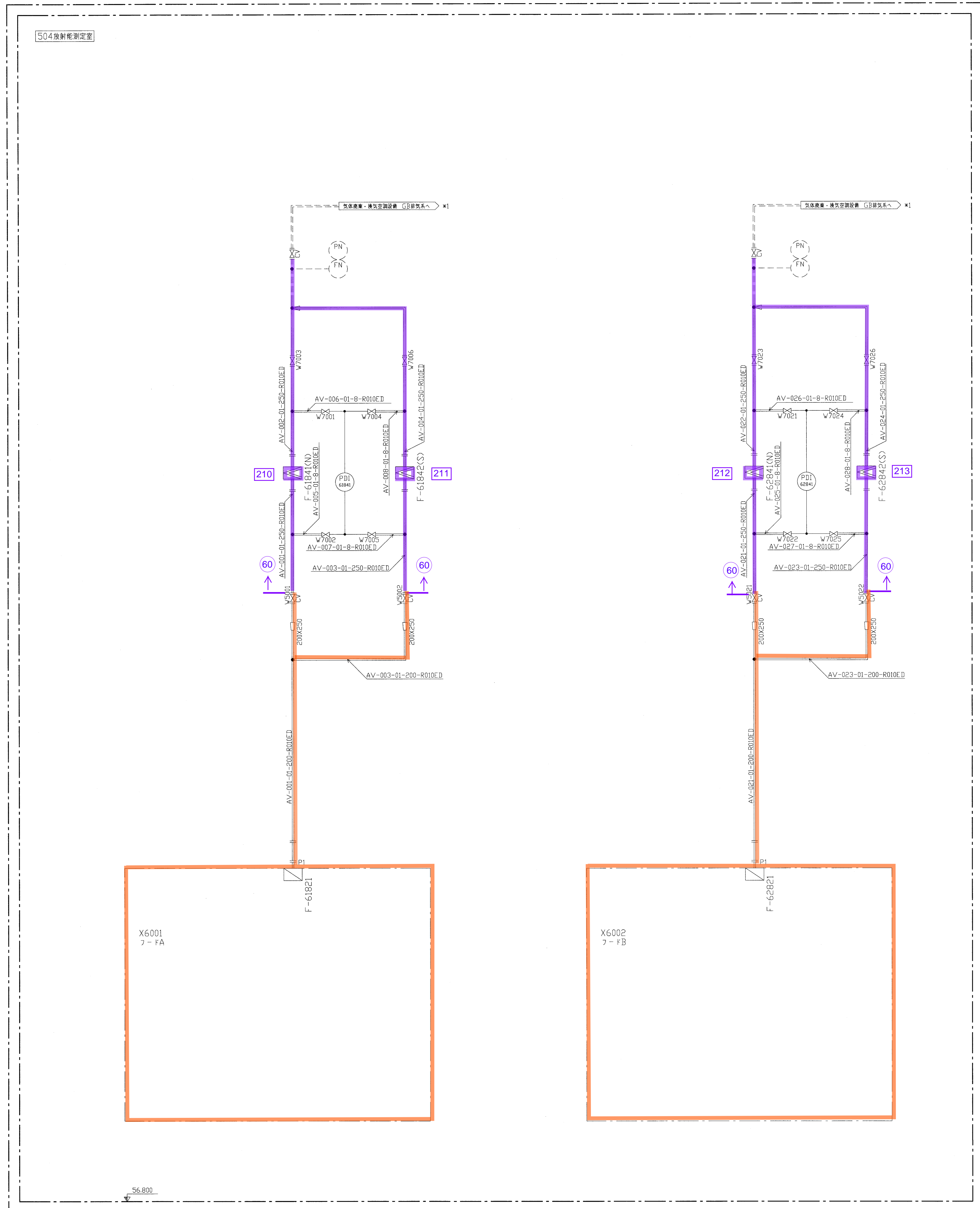
\*1 試運転時流量測定用  
10A管台×2ヶ所 (可能な範囲で短く)  
端面部にねじ込みキャップ取付を施す。  
(試運転終了後溶接キャップ止めとする)



\*2 換気系統図  
(PM-0171-4422-001)参照。

\*3 分析機器配管図  
(PM-0172-4141-001)参照。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図番名称	燃料加工建屋 (PA) 液体廃棄設備 (J) 液体廃棄設備 エンジニアリングフロー図 (B-20701, X-306511) 工程: 0172(15/15)		



備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

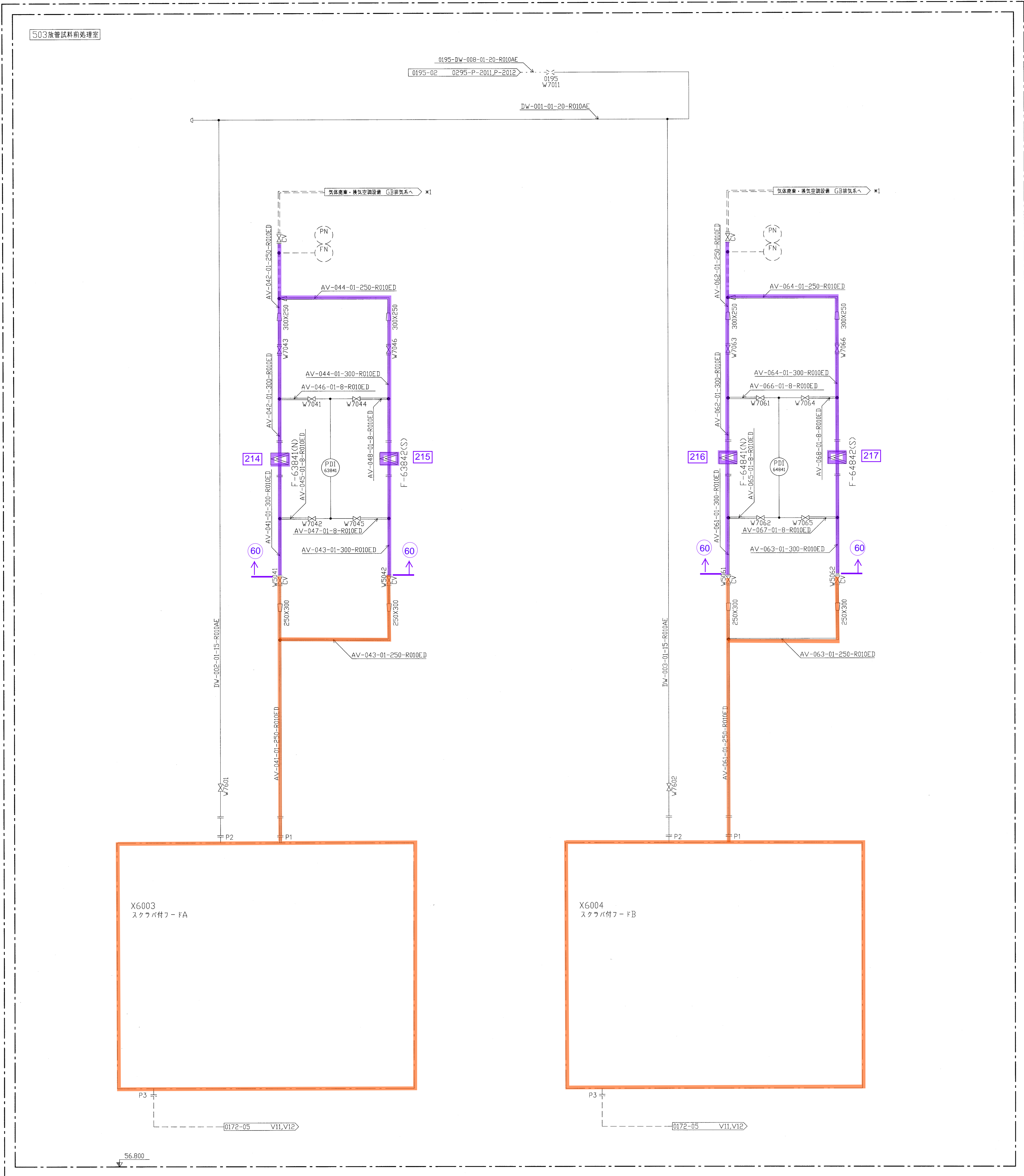
記号	名称
⊕	貫通口

2. 注記(本図中の注記は下記に示す通り)

\*1 タローボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。

客先名	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 放射線管理設備 (L) 放射線管理設備 エンジニアリングフロー図 (X6001,6002) 工程: 0182 (GB) (1/2)		





503換管試料前処理室

備考  
1. 本図中に使用の記号の意味は下記に示す通り。

(凡例)

記号	名称
...	貫通口

2. 注記 (本図中の注記は下記に示す通り)

\*1 グローブボックス廻り換気系統図 (PM-0171-4422-002)参照。

X6003  
スクラバ付フーダ

X6004  
スクラバ付フーダ

発注先	日本原燃株式会社	オーダーアイテム	2917372/6000
プロジェクト	MOX燃料工場	設計区分	P
図書名称	燃料加工建屋 (PA) 放射線管理設備 (L) 放射線管理設備 エンジニアリングフロー図 (X6003,6004) 工程: 0182 (GB) (2/2)		

### 申請対象設備抽出結果

施 設	放射性廃棄物の廃棄施設
設 備	気体廃棄物の廃棄設備 設計基準対象の施設 窒素循環設備
機 器	窒素循環ダクト 等

	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	
【対象機器】	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ファン
	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環冷却機
【主たる機能】	放射性物質の閉じ込め機能 放射性物質の過度の放出防止機能							

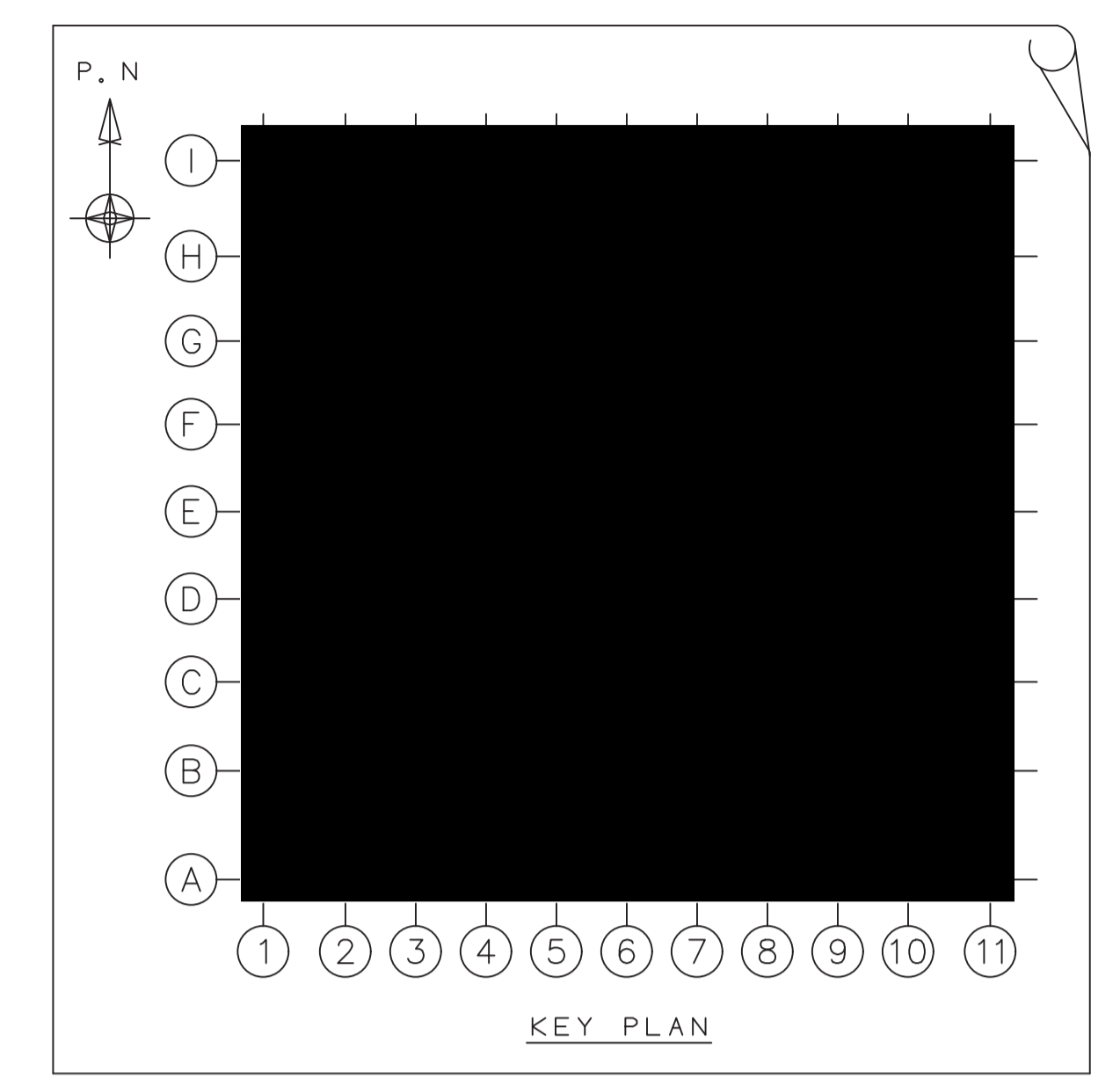
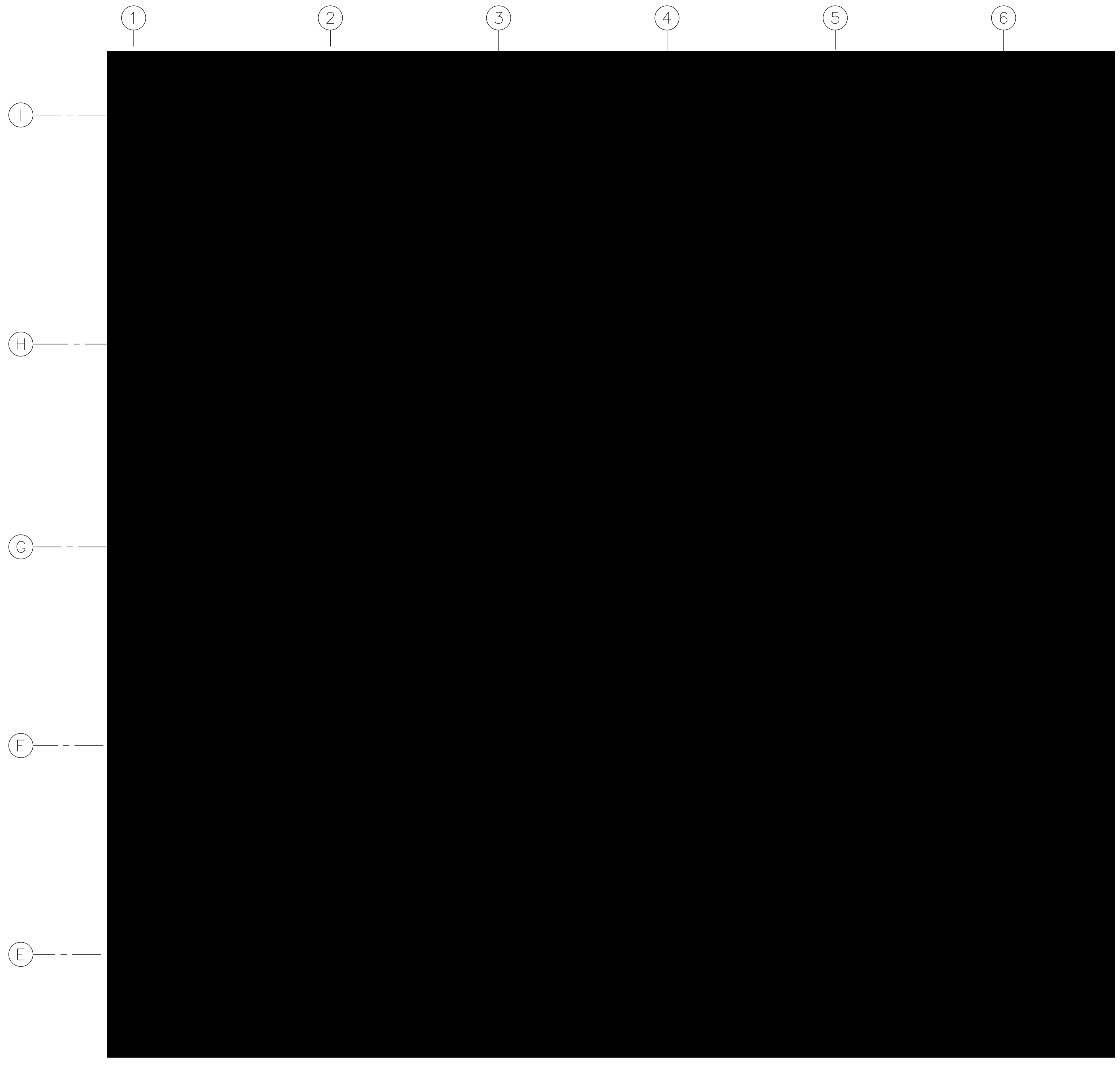
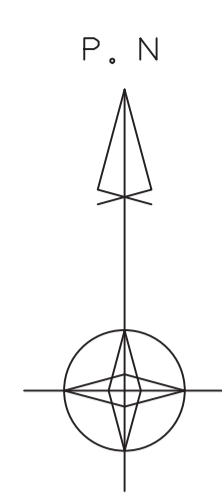
【機器等の抽出】

紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	機器番号	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用 (主従)	共用 (主従)	備考
1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環ファン	ファン	0171-K-501	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	窒素循環ファンA
0171-K-502										燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	窒素循環ファンB	
3	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	—	窒素循環冷却機	機械装置	0171-C-551	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	窒素循環冷却機A
4										0171-C-552	燃料加工建屋	1	2	新設	安重	—	—	—	窒素循環冷却機B

	施設区分		設備区分				機器名称(許可)
【対象機器】	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト
【主たる機能】	放射性物質の閉じ込め機能 放射性物質の過度の放出防止機能						

【主配管等の名称整理】

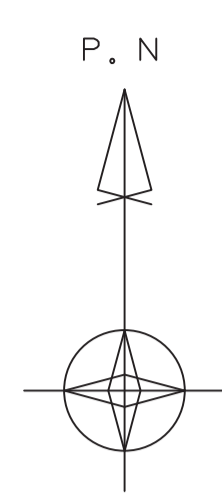
紐付け番号	施設区分		設備区分				機器名称(許可)	機器名称	機種	設置場所	数量	申請回	変更区分	DB区分	SA区分	兼用(主従)	共用(主従)	備考
1	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	延焼防止ダンパ(SPD W3109, W3107, W3126, W3111, W3113, W3142, W3115, W3117, W3118, W3146, W3148, W3144, W3184, W3182) ～窒素循環戻りダクト合流点1(B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
2	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	延焼防止ダンパ(SPD W3197) ～窒素循環戻りダクト合流点1(B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
3	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	窒素循環戻りダクト合流点1(B2F) ～窒素循環冷却機A, B ～窒素循環ファンA, B ～窒素循環給気ダクト分岐点1(B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
4	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	窒素循環給気ダクト分岐点1(B2F) ～手動ダンパ(VD W8588)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
5	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	窒素循環給気ダクト分岐点1(B2F) ～窒素循環設備/グローブボックス排気設備取合ダンパ(VD W8504, W8505, W8498, W8495, W8501, W8502, W8494, W8493, W8483, W8484, W8492, W8486, W8496, W8490, W8488, W8489)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	安重	—	—	—	
6	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	手動ダンパVD W8579) ～窒素循環戻りダクト合流点2(B2F)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	
7	放射性廃棄物の廃棄施設	—	気体廃棄物の廃棄設備	設計基準対象の施設	窒素循環設備	—	窒素循環ダクト	窒素循環給気ダクト分岐点2(B2F) ～気密隔離ダンパ(ATID W5230)	主配管	燃料加工建屋	1式	2	新設	非安重	—	—	—	



- 凡例
- E (GB)
  - E (GBN)
  - S (GBN)
  - LCS

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	数量	単位	重量	備考
日本原燃株式会社 殿				
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下3階 1ブロック (GB, GBN)				



⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪

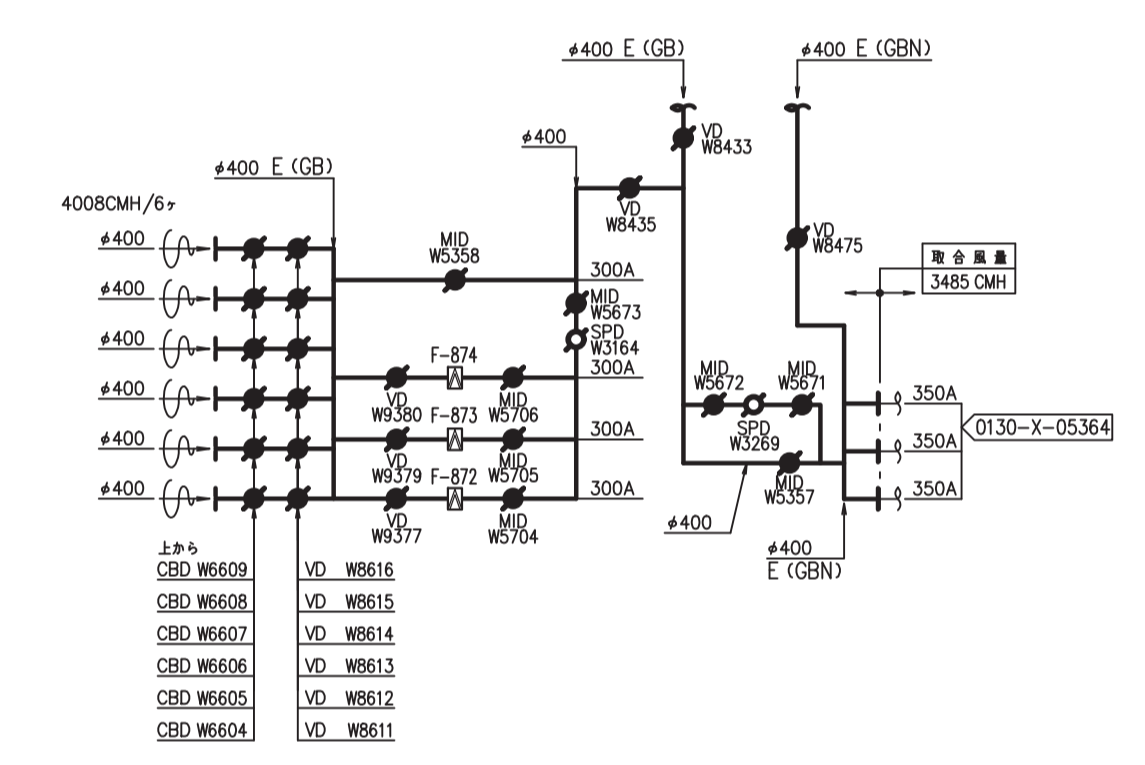
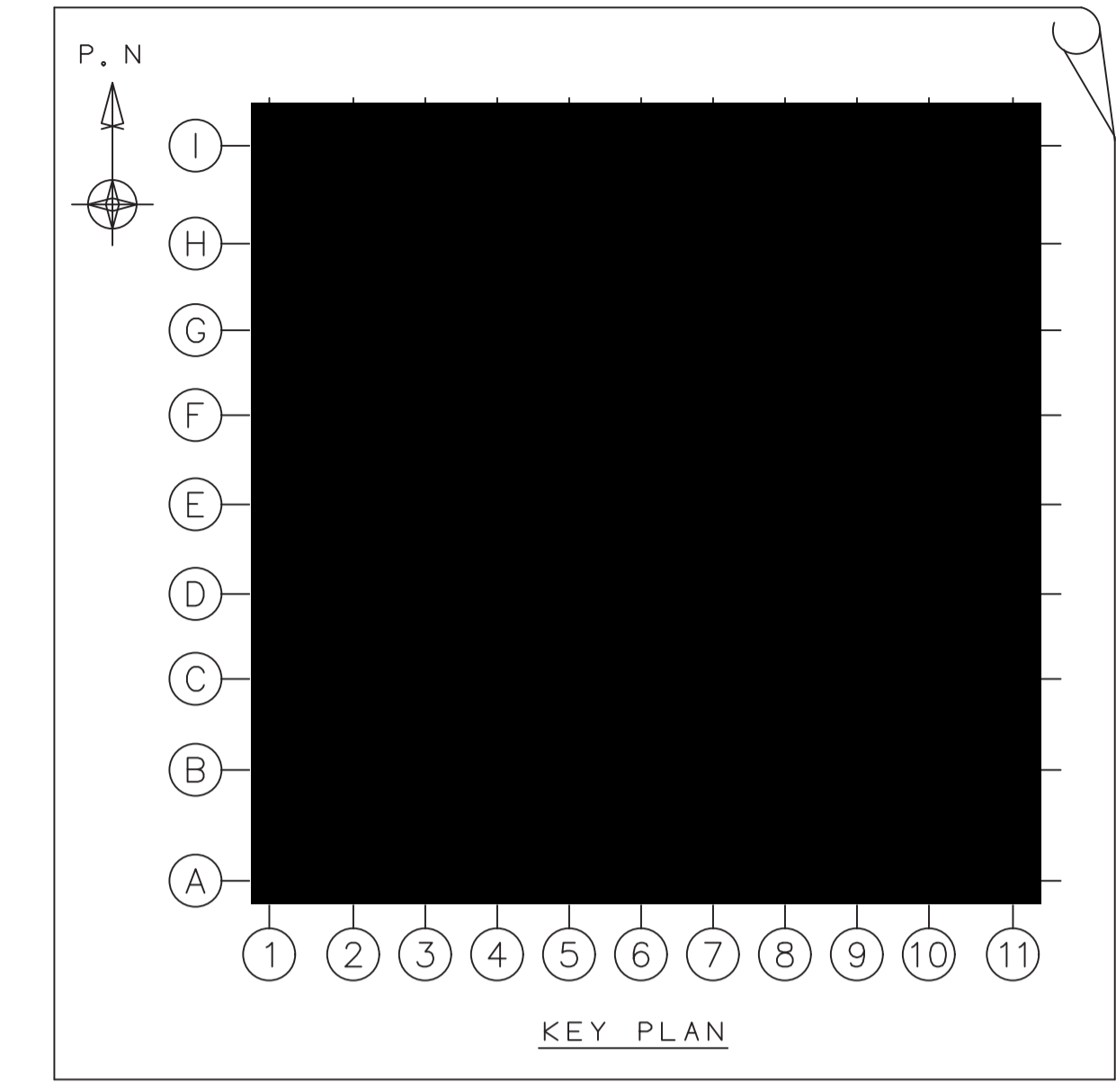
①

②

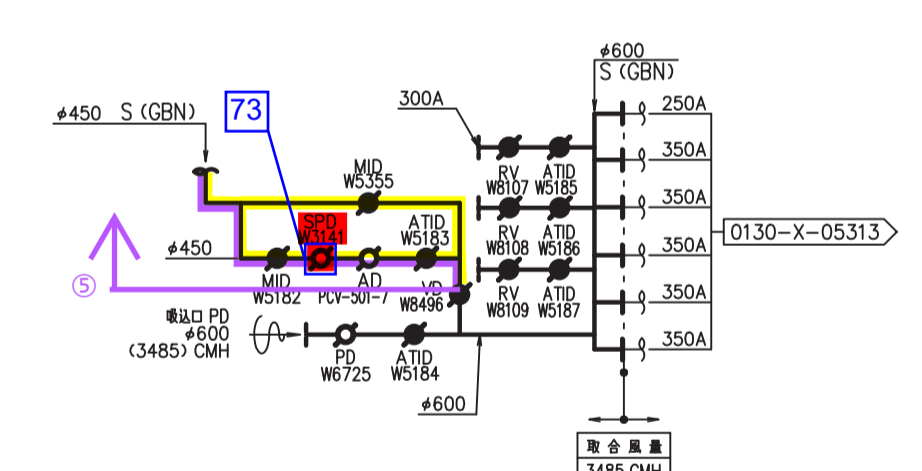
③

④

⑤



X-05364接続部詳細

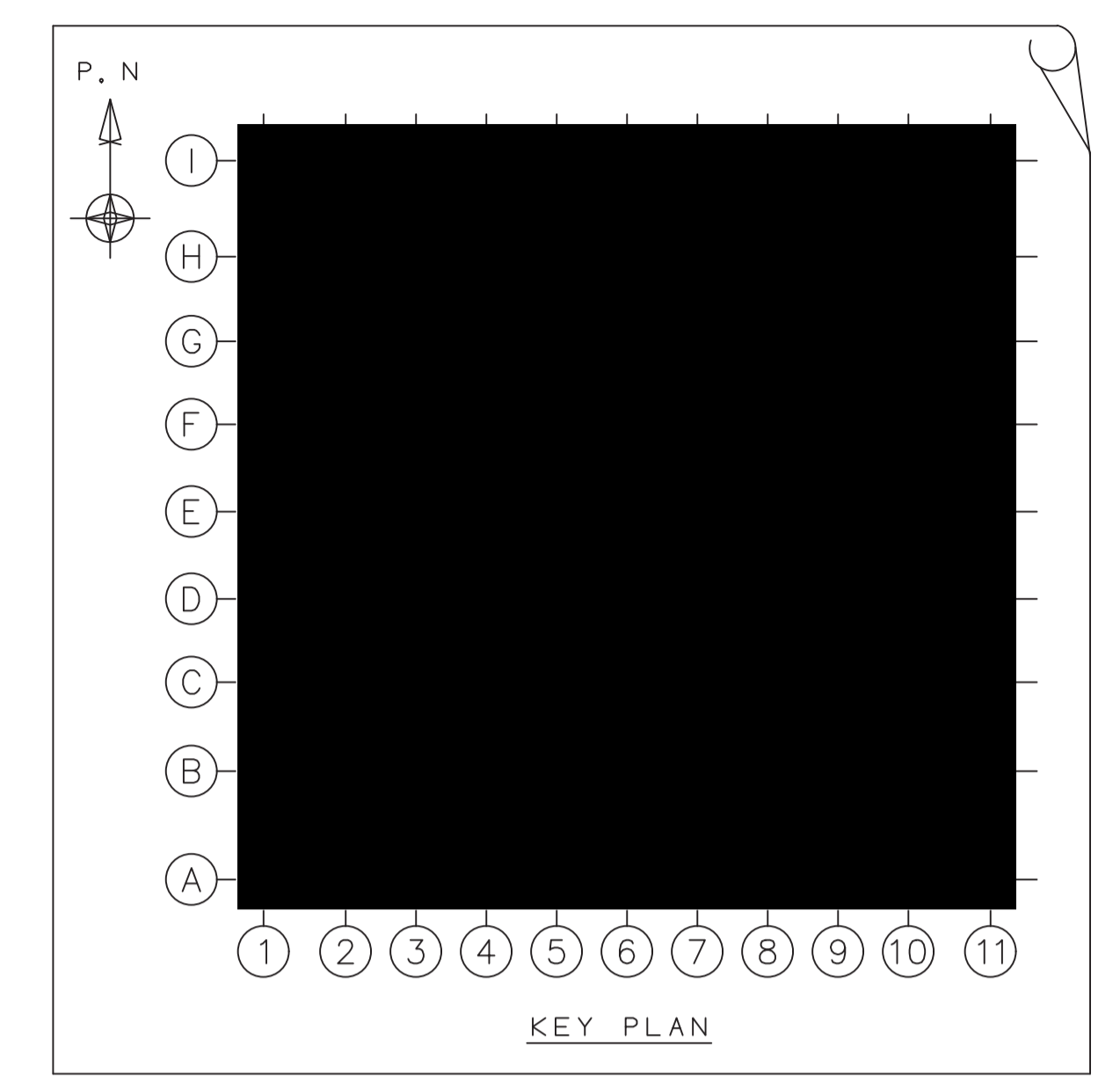
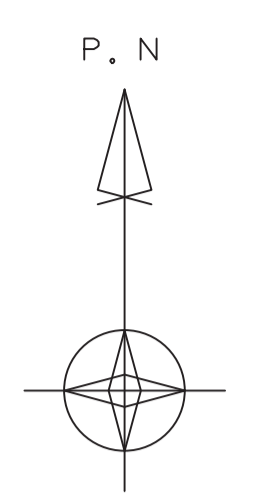


X-05313接続部詳細

- 凡例
- E (GB)
  - E (GBN)
  - S (GBN)
  - LCS

■ については核不拡散の観点から公開できません。

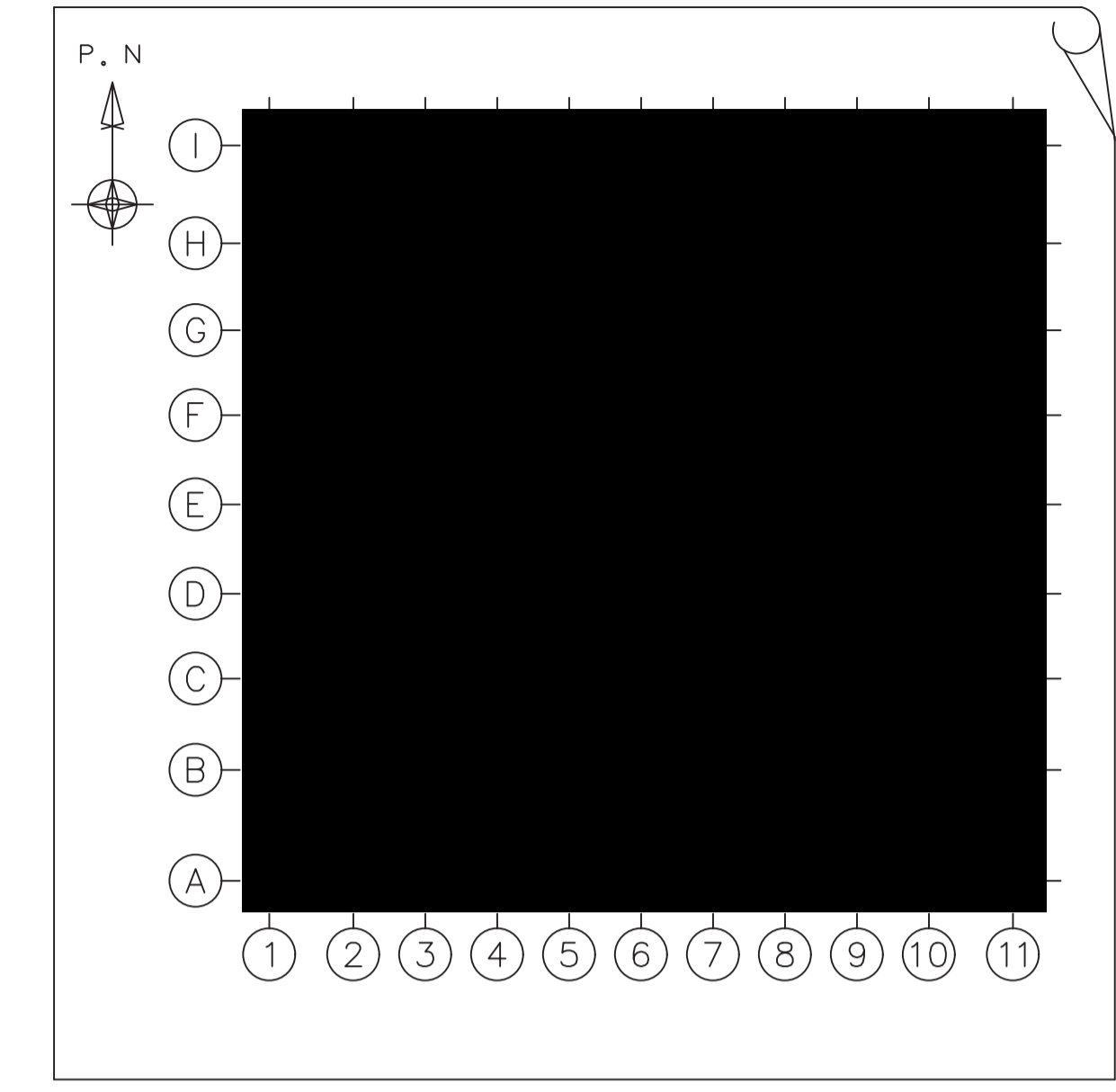
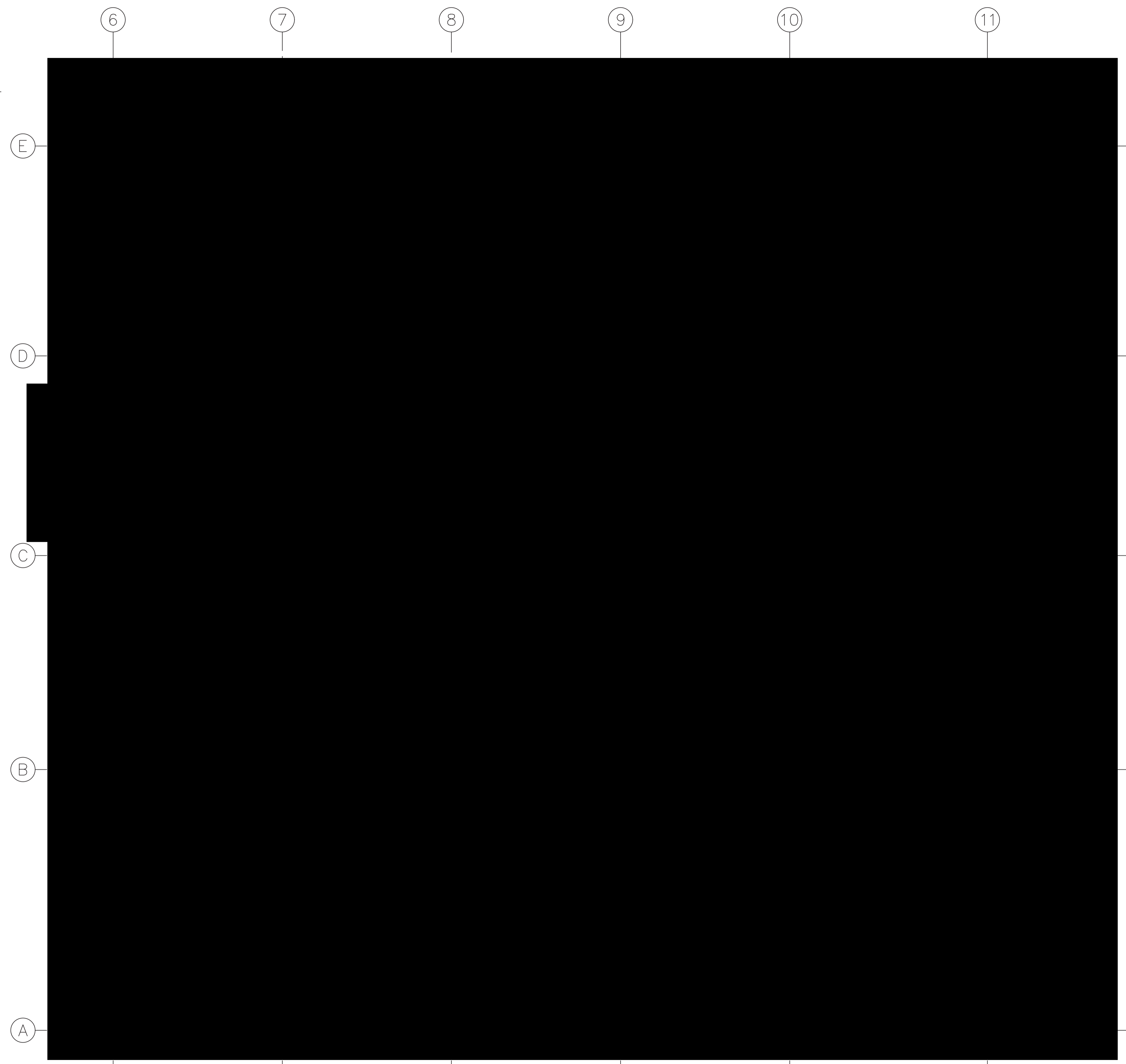
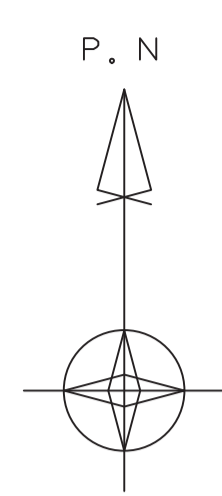
材料	部	数	1	個	重量	記
名	号	別	個	別	(kg)	号
日本原燃株式会社						
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)						
気体廃棄・換気空調設備 (H)						
単線ダクトルート図						
地下3階 2ブロック (GB, GBN)						



- 凡例
- E (GB)
  - E (GBN)
  - S (GBN)
  - LCS

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	核種	活度	単位	数量	備考
日本原燃株式会社 殿					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下3階 3ブロック (GB, GBN)					

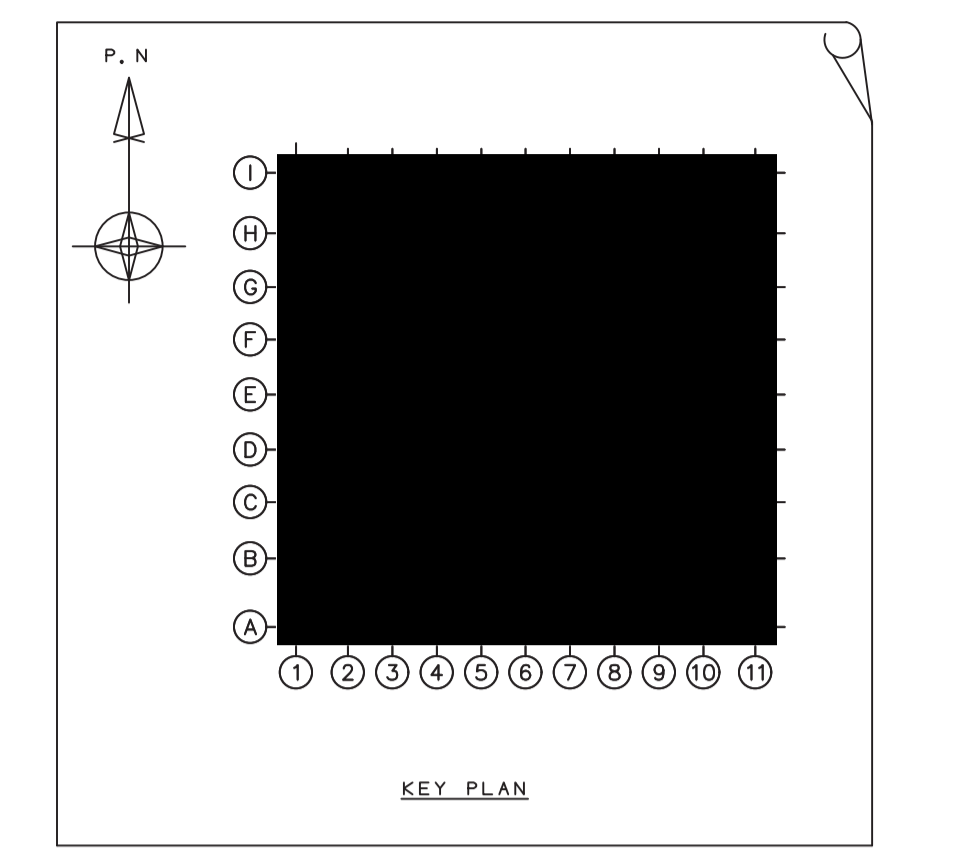
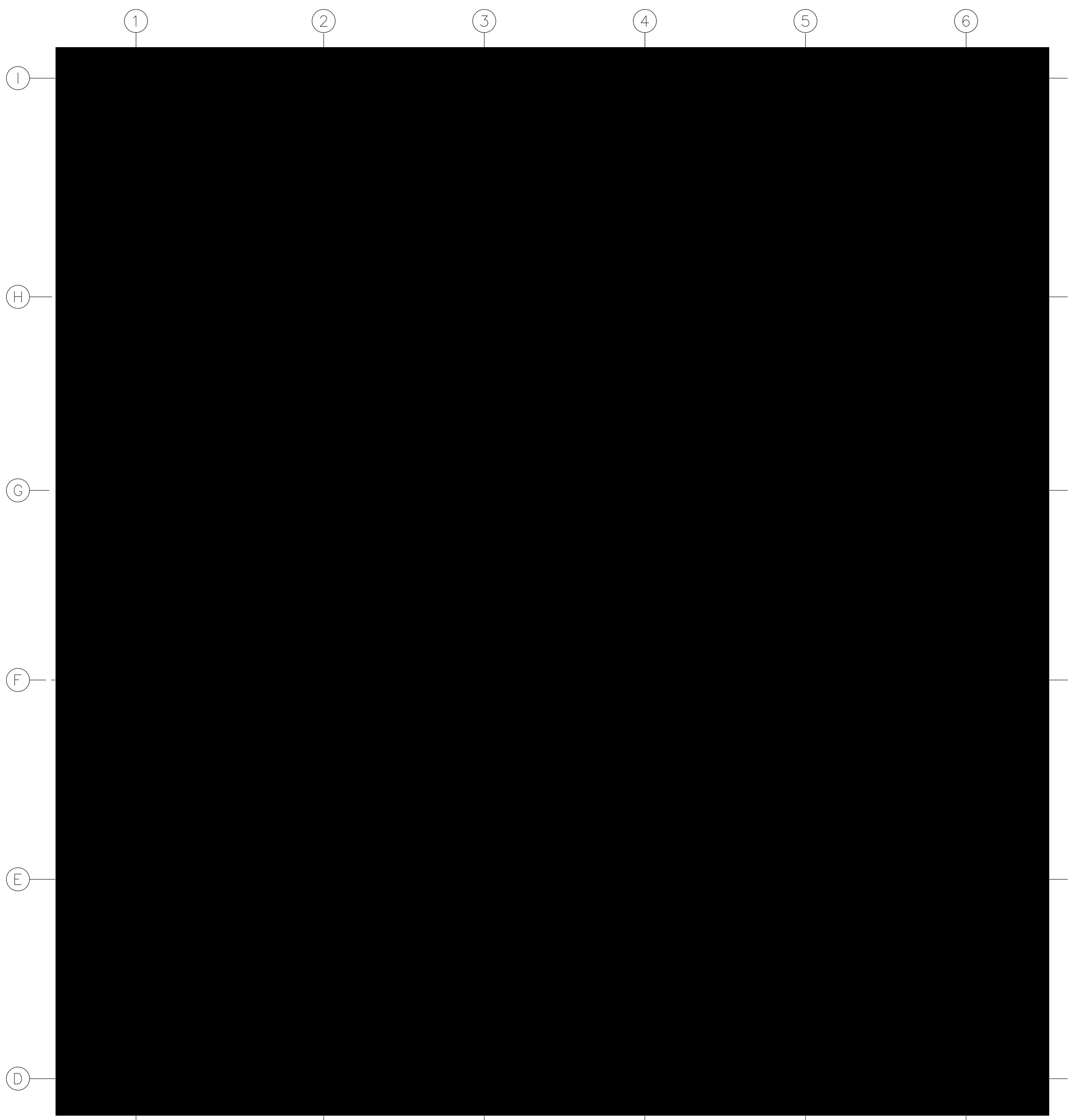
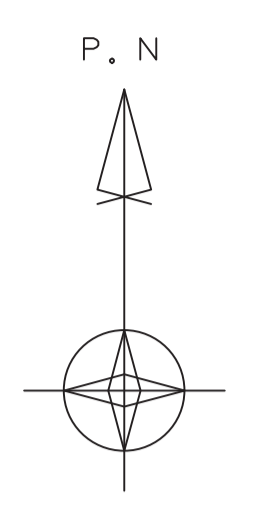


- 凡例
- E (GB)
  - E (GBN)
  - S (GBN)
  - LCS

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	核種	活度	単位	質量	備考
日本原燃株式会社殿					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下3階 4ブロック (GB, GBN)					

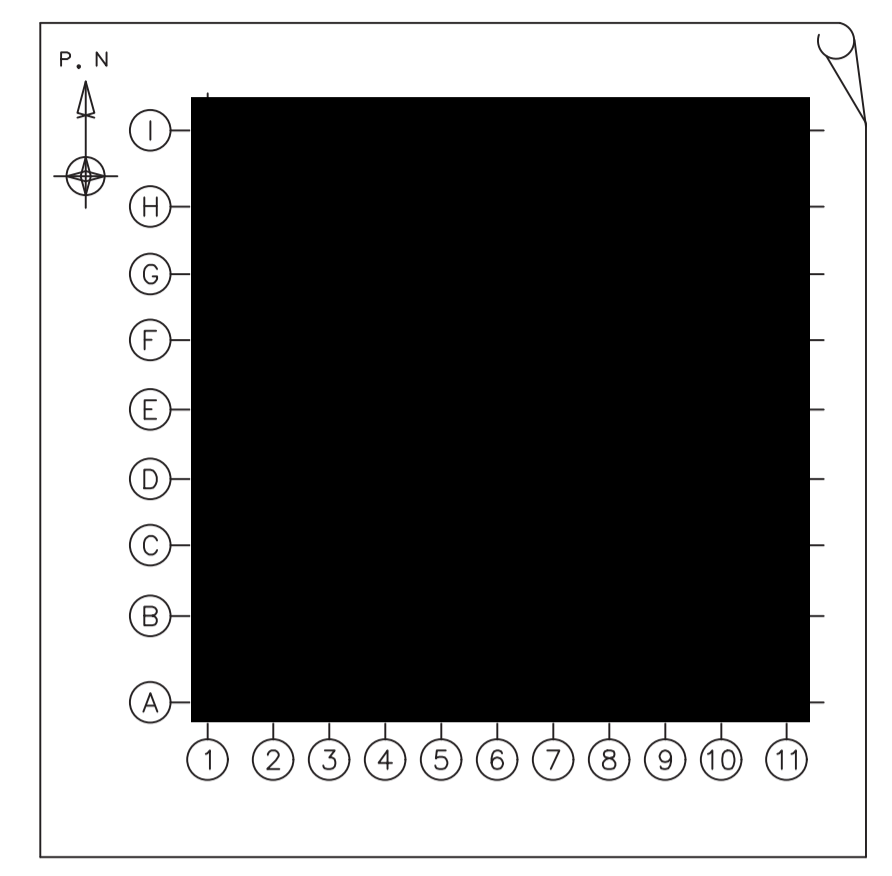
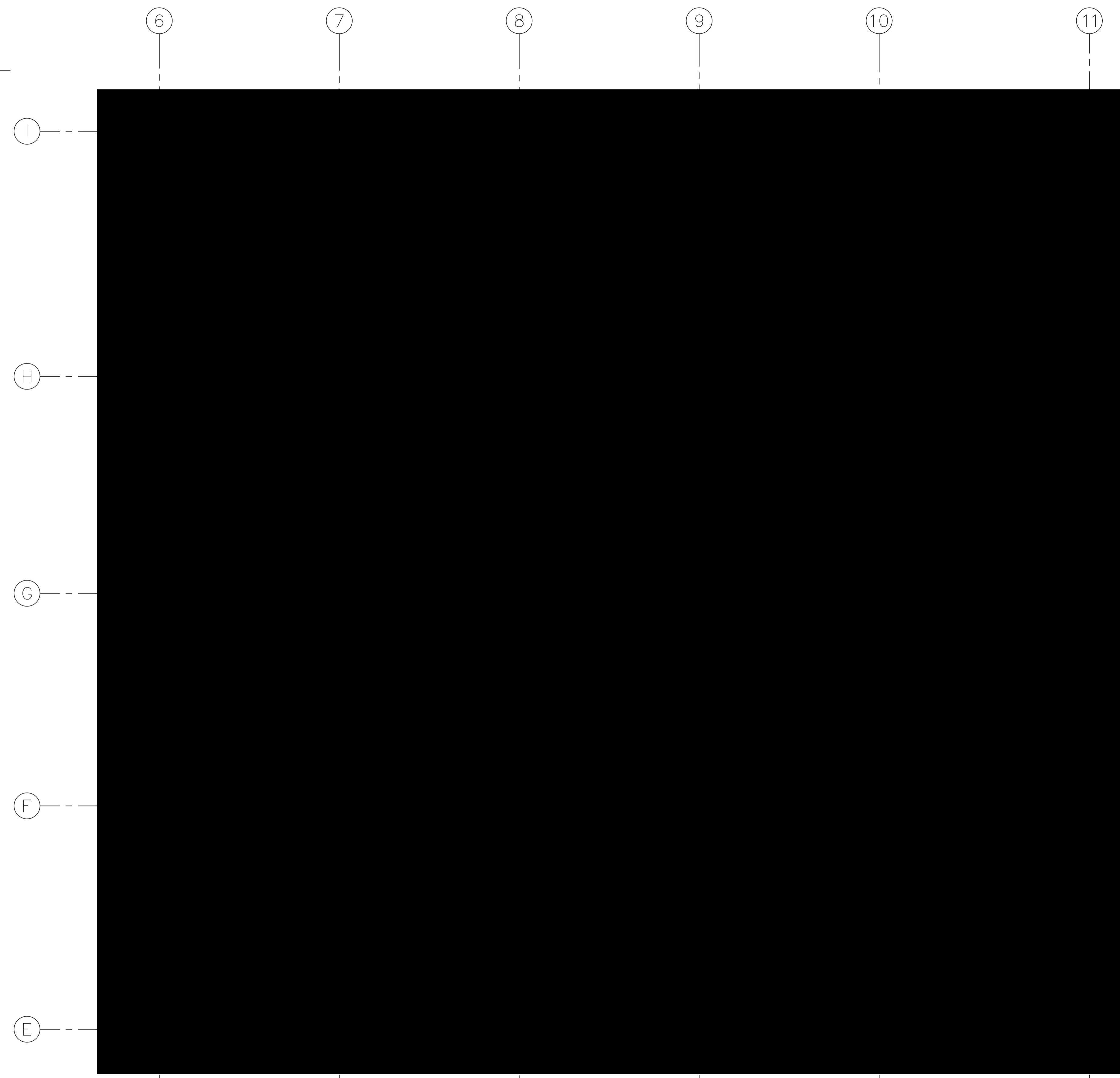
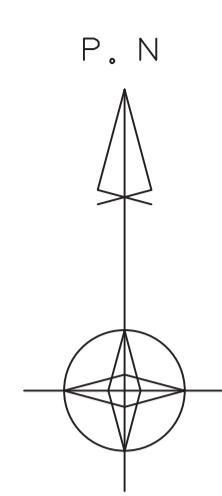




凡例  
 E (GB)   
 E (GBN)   
 S (GBN)

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	数量	単位	重量	備考
日本原燃株式会社				
MXX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)				
気体廃棄・換気空調設備 (H)				
単線ダクトルート図				
地下2階 1ブロック (GB, GBN)				



凡例

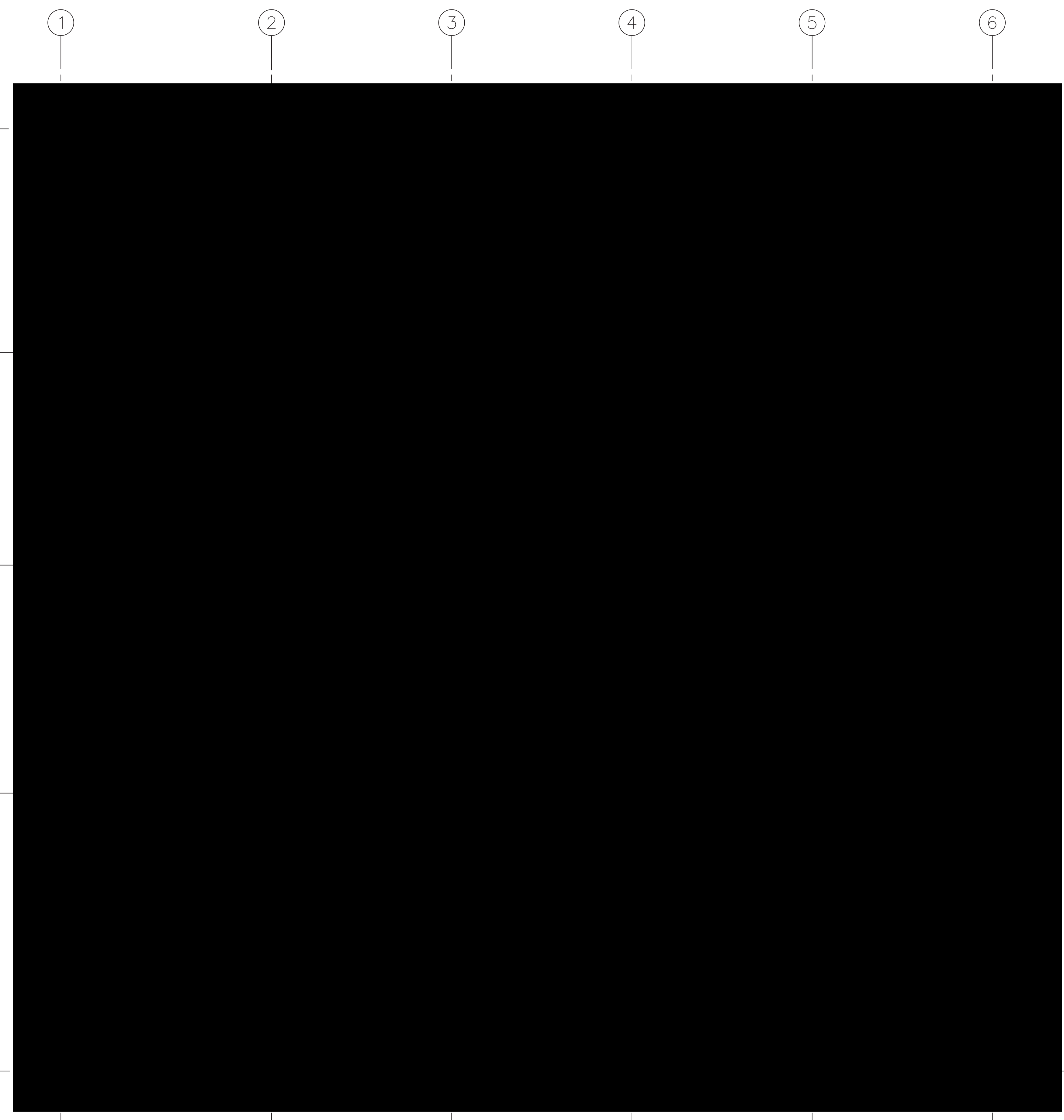
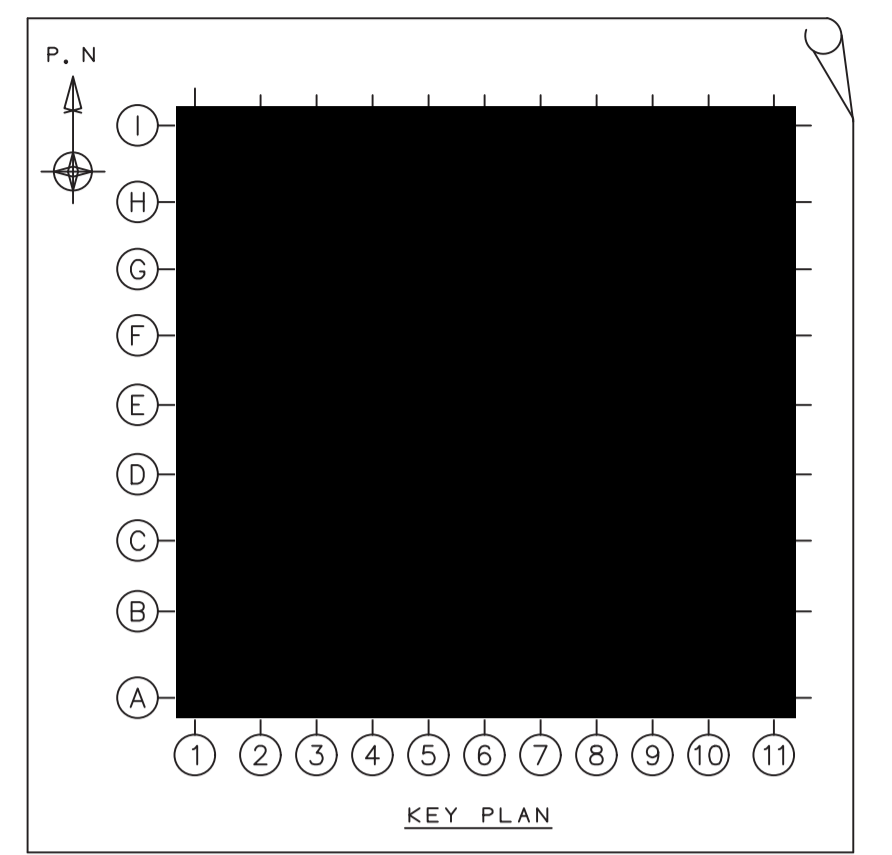
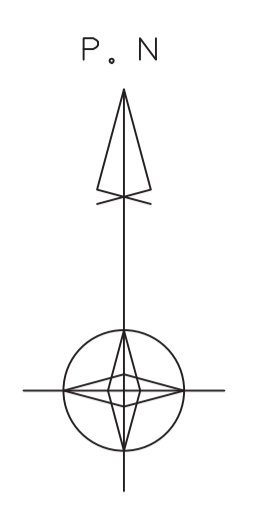
E (GB)

E (GBN)

S (GBN)

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	種別	数量	単位	質量	備考
日本原燃株式会社					
MOX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)					
気体廃棄・換気空調設備 (H)					
単線ダクトルート図					
地下2階 2ブロック (GB, GBN)					

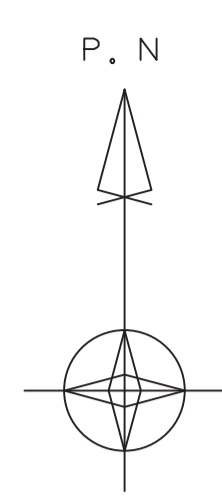


凡例

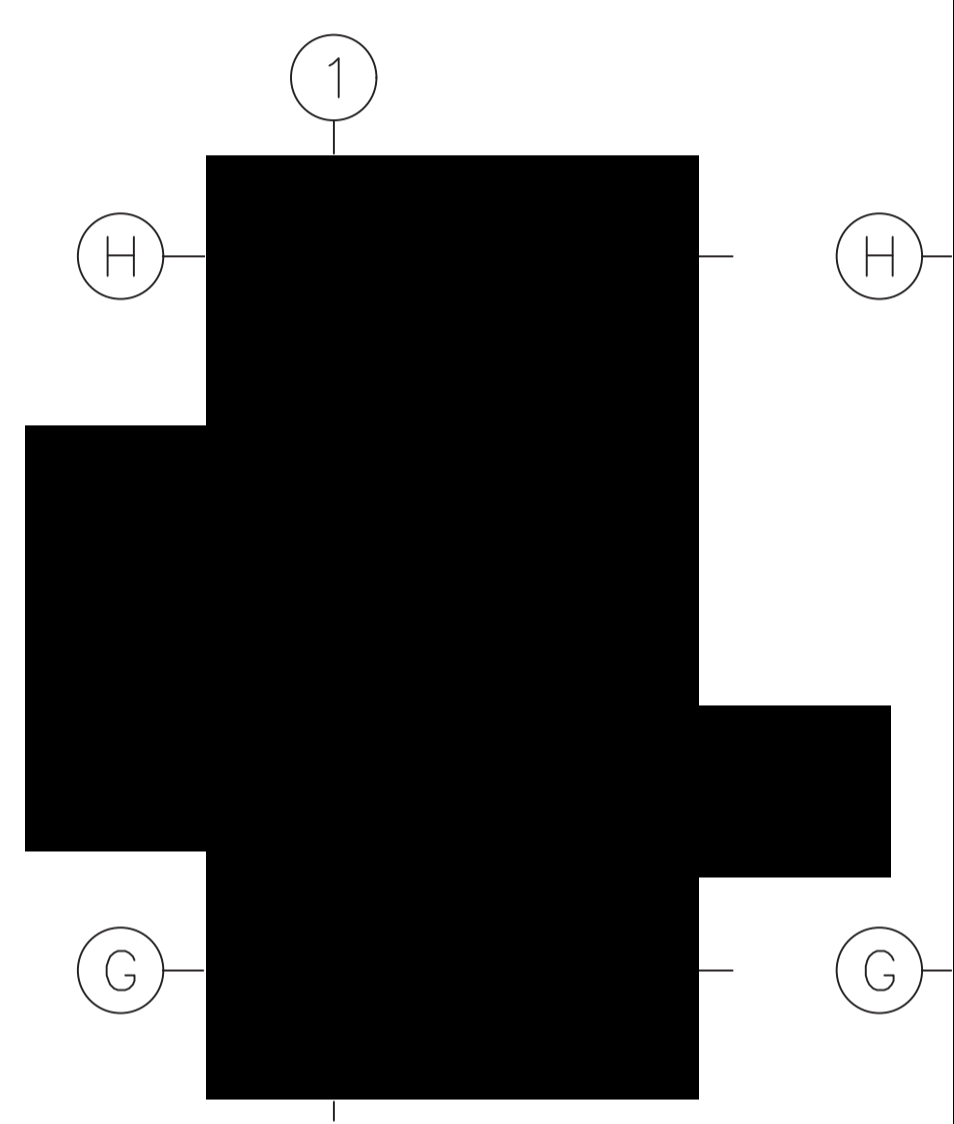
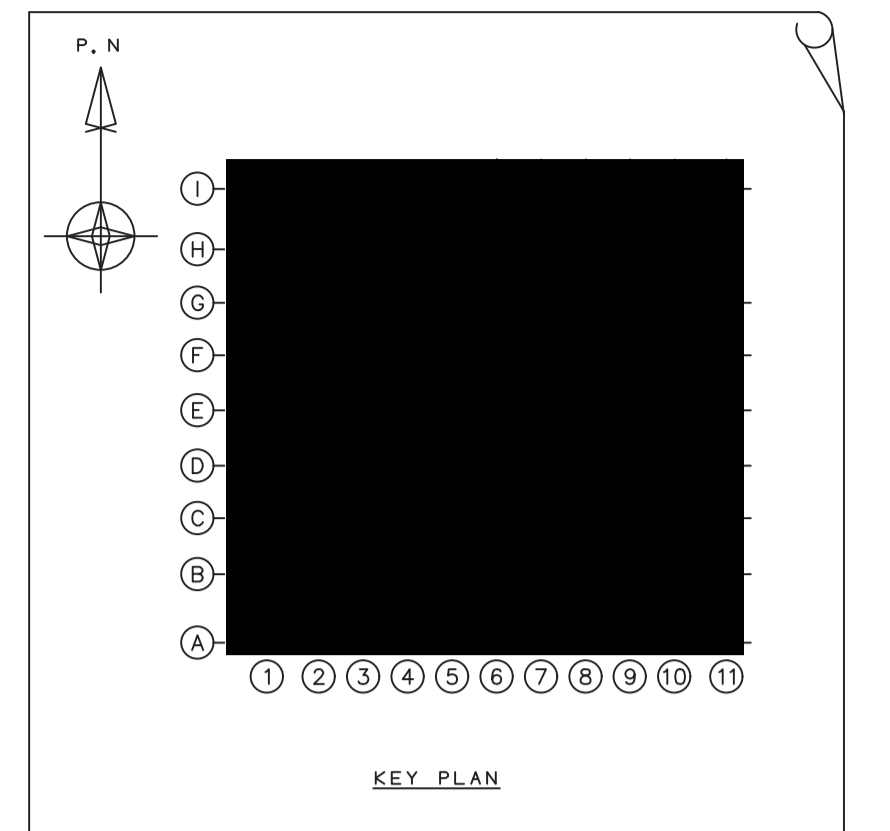
E (GB)	≡
E (GBN)	≡
S (GBN)	≡

■ については核不拡散の観点から公開できません。

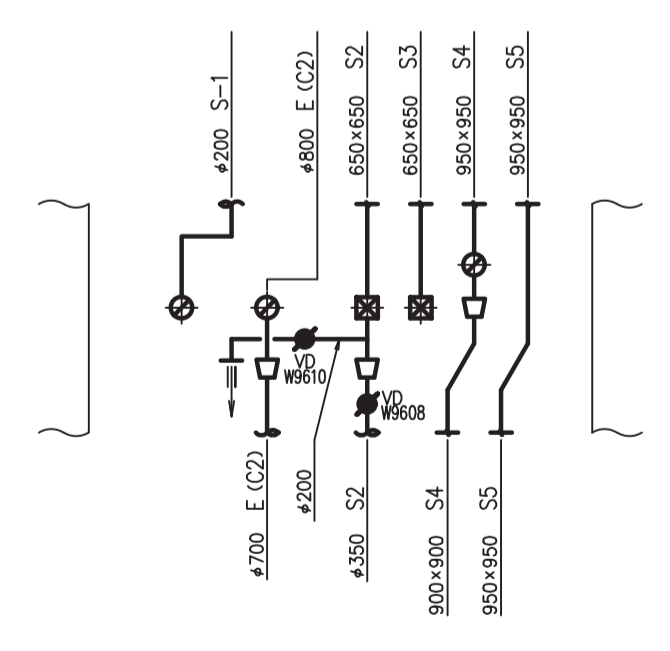
材料	核種	活度	単位	備考
日本原燃株式会社 殿				
MOX燃料工場	燃料加工建屋	(PA)		
気体廃棄・換気空調設備	(H)			
単線ダクトルート				
地下2階	3ブロック	(GB, GBN)		



① ② ③ ④ ⑤ ⑥



下部平面図



上部平面図

- 凡例
- S1~5
  - E (C1)
  - E (C2)
  - E (C3)
  - S-1
  - E-1
  - R-1
  - E (GBN)
  - S (GBN)

■ については核不拡散の観点から公開できません。

材料	部	数	1	個	重量	記
	名		個	別	(kg)	事
日本原燃株式会社 殿						
MXX燃料工場 燃料加工建屋 (PA)						
気体廃棄・換気空調設備 (H)						
単線ダクトルート図						
地下1階 1ブロック						

関連する基本設計方針（別紙2）

第23条：換気設備

追而